

ブリヂストンBRM株式会社
サステナビリティレポート

2021-2022



平成30年度

資源循環技術・システム表彰
経済産業大臣賞

使用済みタイヤ再利用によるリユース事業
ブリヂストンBRM株式会社



目次

1. 経営者のコミットメント -----	2
2. 会社概要 -----	3-5
(1) 登録事業者の概要	3
(2) 会社沿革	4-5
3. 「Bridgestone E8 Commitment (ブリヂストン イーエイト コミットメント)」	6
4. ビジネスモデルと中期戦略及び目標 -----	7-13
(1) ビジネスモデル	7
(2) バリューチェーンの体制	8
(3) 資源循環システム	9
(4) 2050年を見据えた環境中長期目標	10
(5) ブリヂストングループの戦略とBBRMの位置づけ	11
(6) リトレッドビジネスの戦略	12
(7) 「持続可能な社会の実現」に向けての戦略	13
5. 「持続可能な社会の実現」に向けての取り組み -----	14
(1) BBRMの目指す姿とスローガン	14
(2) 全ての基盤は「社員の活性化と成長」	14
6. 基盤となる社員活性化活動 -----	15-26
(1) 活きいきプロジェクト	15-16
(2) 6つの改革とは	17-26
7. SDGsで見る2021年度環境活動総括 -----	27-32
8. 価値共創への招待～信頼の醸成 -----	33-50
(1) 安全	33-34
(2) 環境	35-46
(3) 社会貢献活動	47-50
9. 価値創造の基盤・コーポレートガバナンス -----	51-54
(1) 基盤領域	51-52
(2) BBRMのガバナンス	53-54
10. ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション -----	55
Appendix 環境関連法規 -----	56-60

1. 経営者のコミットメント

当社ブリヂストンBRM株式会社(以下BBRM)は株式会社ブリヂストンの100%子会社で、リトレッドタイヤの製造・卸売を行っております。

リトレッドタイヤとは、新品を使用し接地面が摩耗したタイヤを再度形成しなおし再利用可能な状態にしたリサイクルタイヤです。

現在、株式会社ブリヂストンが目指すサステナビリティビジネスモデルの中核を成し、CO₂削減や資源消費量の削減に貢献する商品となります。

「持続可能な社会の実現」「持続可能な開発目標(SDGs)の達成」がグローバル課題となっている中、リトレッドタイヤという環境配慮型商品の製造・卸売を行っている当社の責務は非常に大きいと認識しています。

また、2020年初より世界的に感染が拡大したCOVID-19により、社会の脆弱性が露見され、日常は大きく変化しました。COVID-19の感染拡大は、SDGsを達成するための課題を改めて認識させると共に、SDGs達成に向けた社会変革を加速させる転機であることを示した現象であったともいえます。

このような社会環境変化を受け、BBRMは「最高の品質で社会に貢献」というブリヂストングループの企業理念と環境宣言に基づき、我々が目指すべき姿を「全ては未来の子どもたちのために」(未来のすべての子どもたちが「安心」してらせる社会の実現)と設定しています。そして、その実現の為にBBRMのスローガンである「NO.1のリトレッドでお客様・地球環境に貢献」を実践し、「持続可能な社会の実現」に向け貢献してまいります。

なお、これらの活動を支えるためには、社員の活性化・成長が最大かつ最優先の解決策と認識し、2017年下期から社員一人ひとりへの企業理念・活動の意義、BBRMが目指すべき姿・活動の浸透・実行化に注力してきました。

社員を大切に、社員の成長を促すことで、社員一人ひとりの行動が大きな力となり、その力が直面する社会課題を一つひとつ地道に解決してくれると信じています。

このような体質改善的な活動はすぐに成果がでるものではなく、綿々と継続した結果得ることができるものです。あきらめず、粛々とやり続ける。これしかないと思っています。

引き続き、社員一同更なる高い目標達成に向け、ステークホルダー・地球環境への貢献を目指してまいります。



代表取締役社長
須藤 克己

当社環境経営の最新情報はHPでチェック！！

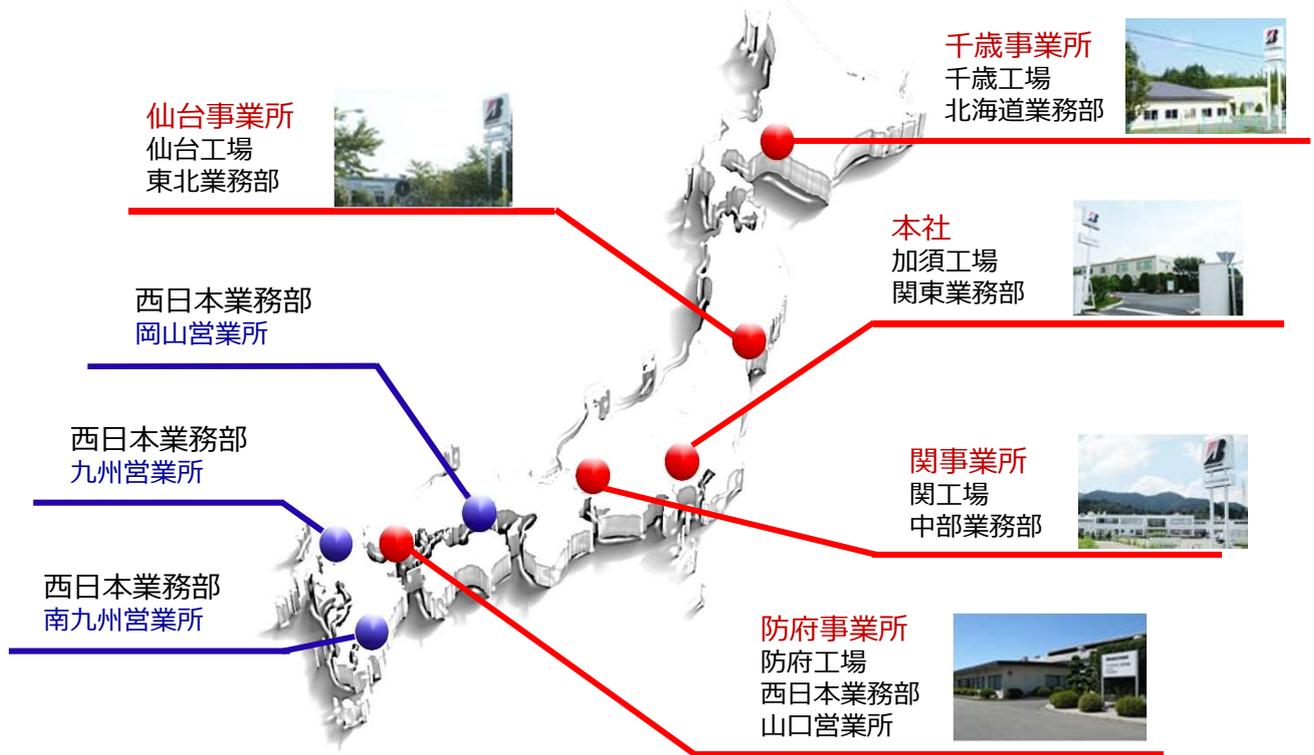


2. 会社概要

(1) 登録事業者の概要

- 事業者及び代表者
事業者名：ブリヂストンBRM株式会社
代表者名：代表取締役社長 須藤 克己
- 本社所在地
加須事業所(加須工場、関東業務部)
〒347-8550 埼玉県加須市南篠崎1丁目2番地3
TEL：0480-65-2111 FAX：0480-65-2119
- 環境管理責任者：石崎 浩
- 事業内容：
トラック・バス用を主体としたリトレッドタイヤの製造・卸売
- 設立年月日：
2009年1月1日(前身会社設立：1962年7月)
- 資本金：1億円
- URL www.bs-brm.jp

- 事業所所在地



(2) 会社沿革

1960年代～

- 1962年 7月 山口県に資本金9百万円でブリヂストンSRC(株)前身会社操業開始
- 1963年 3月 埼玉県所沢市に資本金4千万円でブリヂストンTRK(株)前身会社操業開始

1970年代～

- 1972年 2月 北海道千歳市にて資本金4億円でブリヂストンHRK(株)操業開始
- 1975年 5月 ブリヂストンTRK(株)が宮城県に仙台工場を建設し操業開始

1980年代～

- 1980年 1月 ブリヂストンTRK(株)が愛知県に名古屋工場を建設し操業開始



1962年創業当時の
ブリヂストンSRC(西部リトレッド)

1990年代～

- 1990年 4月 ブリヂストンTRK(株)名古屋工場が岐阜県関市に移転し、新工場操業開始
- 1999年 4月 ブリヂストンTRK(株)とブリヂストンHRK(株)が合併

2000年代～

- 2005年・2006年 ISO14001認証取得
- 2007年・2008年 ISO9001認証取得
- 2009年 1月 ブリヂストンTRK(株)とブリヂストンSRC(株)が合併、新会社ブリヂストンBRM(株)が発足
- 2012年 7月 会社創業50周年
- 2017年 7月 活きいきプロジェクトスローガン決定
- 2018年 10月 資源循環技術・システム表彰 経済産業大臣賞受賞
- 2018年 10月 リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 会長賞受賞
- 2018年 10月 誰もが輝く！職場スローガン 「働きがいのある職場部門 優秀賞」受賞



活きいきプロジェクトスローガン



資源循環技術・システム表彰
経済産業大臣賞受賞



リデュース・リユース・リサイクル推進協議会
会長賞受賞



誰もが輝く！職場スローガン
「働きがいのある職場部門 優秀賞」受賞

- 2019年 1月 ブリヂストンBRM株式会社設立10周年
- 2021年 3月 第11回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞審査委員会特別賞受賞
- 2021年 12月 Bridgestone Group Awards(BGA)大賞受賞



Bridgestone Group Awards(BGA)大賞受賞



「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞審査委員会特別賞受賞



編集方針

「全ては未来の子どもたちのために」

私たちの目指す姿は、未来の子どもたちが安心して暮らしていける様、「持続可能な社会の実現」に向け、地球環境を維持していくことです。

環境商品であるリトレッドタイヤを製造する会社として、本来の強みである環境貢献のレベルアップはもとより、事業運営の源泉である社員の健康作り、そして多様な人財が活躍できる職場作りを推進して来ました。

2020年、世界的に感染拡大したCOVID-19により、私たちの生活環境は大きく変革しました。「最高の品質で社会に貢献」というブリヂストン創業者の思いをDNAとして引き継ぎ、それをBBRMのスローガン・行動指針としてブレークダウンし、社員一人ひとりにまで浸透させることで、この難局を乗り越えて来ました。

その様な状況の中、私たちが取り組んできた活動を、本レポートを通じ少しでも皆様に理解いただき、元気、勇気を与えることが出来れば幸せに思います。

報告対象期間

当社は、サステナビリティレポート(2018年は環境活動レポート)を毎年発行しています。本レポートでは、原則として主に2021年1月より12月までの活動を対象としておりますが、一部情報については、2020年後半および2022年前半の活動も含まれます。

対象報告範囲

サステナビリティレポートでは、BBRM及び株式会社ブリヂストンを含めた、ブリヂストングループの取り組みを報告しています。一部範囲が異なるものについては、その都度記載及び注釈を加えています。



3.「Bridgestone E8 Commitment」

(ブリヂストン イーエイト コミットメント)

(1) 未来の子供たちからの預かり物であるこの地球のために



ブリヂストングループは2020年を、1931年の創業、1988年のファイアストーン社買収を契機とした「第二の創業」に続く「第三の創業」Bridgestone 3.0の初年度とし、ビジョン「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして、持続的な社会価値・顧客価値を提供している会社へ」を掲げました。ビジョンの実現に向けて、創立91周年となる2022年3月1日に、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment(ブリヂストン イーエイト コミットメント)」を制定しました。

ブリヂストンらしさにこだわり定義した「E」で始まる8つの価値(Energy、Ecology、Efficiency、Extension、Economy、Emotion、Ease、Empowerment)を、ブリヂストンらしい目的と手段で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えることにコミットするものです。私たちBBRMも環境に配慮したリトレッドタイヤを通じて、より良い地球環境を未来の子どもたちに引き継ぎ、誰もが活躍できる社会・企業づくりにコミットしていきたいと考えています。

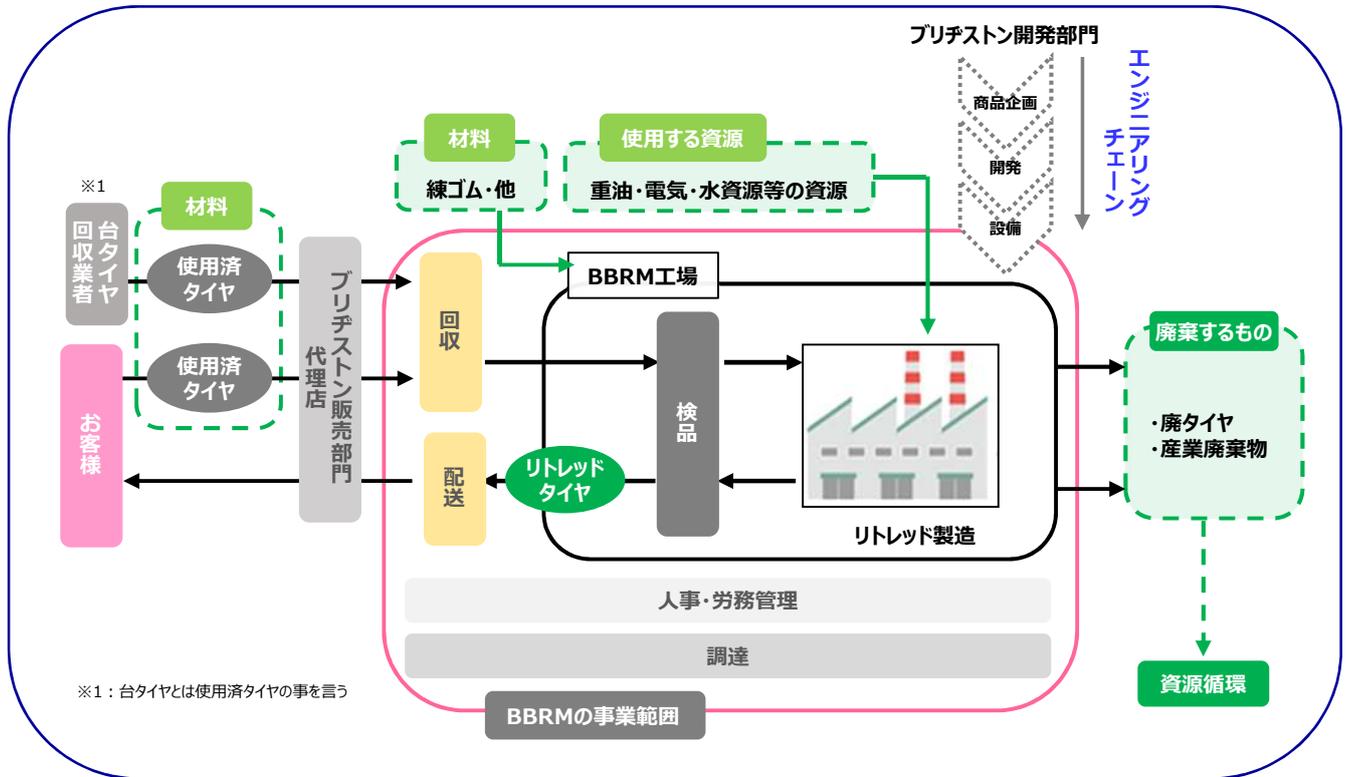
(2) 「Bridgestone E8 Commitment」の8つの「E」

「Bridgestone E8 Commitment」の8つの「E」は、当社グループの使命、企業理念や、創立から91年の歴史の中で培ってきたDNAが反映されていると共に、中長期事業戦略、ビジョンにも合致し、当社グループの企業活動全体、将来の可能性を包含し、広がり示すものです。

・Energy	カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えることにコミットする。
・Ecology	持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐことにコミットする。
・Efficiency	モビリティを支え、オペレーションの生産性を最大化することにコミットする。
・Extension	人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていくことにコミットする。
・Economy	モビリティとオペレーションの経済価値を最大化することにコミットする。
・Emotion	心動かすモビリティ体験を支えることにコミットする。
・Ease	より安心して心地よいモビリティライフを支えることにコミットする。
・Empowerment	すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする。

4. ビジネスモデルと中期戦略及び目標

BBRMのバリューチェーン



(1) ビジネスモデル

お客様が使用したタイヤをプリチストングループ販売会社・使用済タイヤ回収業者経由で回収し、当社工場でリトレッド加工した後、販売会社経由でお客様に供給するという資源循環を通して、社会に貢献することが当社BBRMのビジネスモデルです。

特に、使用済タイヤの約50%は、お客様が使用したタイヤそのものをお預かりし、加工を施し、お返しするという自社台方式※1を採用しており、お客様の事業活動における資源循環を支援しています。

これにより、お客様の観点では①自分が使ったタイヤのため、タイヤの使い方、品質を信用できる、②自分の使ったタイヤを預けて加工してもらうため、他のタイヤを使うより工程を簡略化でき、費用も安く済むというメリットがあります。

環境の観点では①一度使用したタイヤを廃棄せずに再利用することによる資源使用量の削減②生産過程におけるCO₂削減③廃棄タイヤの削減等に繋がるといった、環境に貢献するビジネスモデルとなっています。

※1: お客様が自社でご使用されたプリチストン製のタイヤ(台タイヤ)をお預かりし、リトレッドしてお返しの方式です。

当社環境経営の最新情報はHPでチェック！！



(2) バリューチェーンの体制

お客様や使用済タイヤ回収業者よりお預かりした使用済タイヤと、株式会社ブリヂストンの工場から購入する練ゴム等の部材を原料に、リトレッドタイヤを製造し、お客様に製品を提供します。製造工程では、重油・電気・ガスや水などの資源を消費するとともに、廃ゴム、排水、金属くずなどの廃棄物が発生し、環境負荷が増加するリスクを抱えています。これに対しては、エネルギー消費量の削減(後述)や廃棄物の「資源循環システム」(後述)を構築し、環境負荷の低減を推進しています。また、更なる環境配慮型製品として、2回までリトレッド可能な商品の提供も行っています。なお、工場で主に「使用する資源」・「排出する資源」などは下記の通りです。

環境側面評価表(組織が管理できる環境側面)

	カテゴリ	項目	区分	影響度
使用する資源	エネルギー	購入電力	製造	●
		A重油		●
		軽油(トラック)	業務	
		LPG(フォークリフト)	製造・業務	
		ガソリン(乗用車)		
	資源	灯油(暖房)	全部門	
		水(上水+地下水)	製造	
排出する資源	廃棄物	コピー紙	全部門	
		産業廃棄物排出量	製造	●
		廃タイヤ(1次、2次、製品不良(製造起因)他)		●
		廃ゴム		●
		金属くず(ラスプ ^{※1} 、カップ、ナイフ他)		
	廃油			
	水・大気への排出	事業系一般廃棄物(可燃ゴミ)	全部門	
		化学物質(ゴムガソリン、ボイラ薬品他)	製造	
		工場排水(水質系)		
		浄化槽排水		
ボイラ排ガス(大気系)				
CO ₂ 排出量	全部門			
その他	健康への影響	振動	製造	
		騒音		
		臭気		

※1 台タイヤの形を整えるための先のとがった目の粗いやすり

BBRMでは、2005年にISO14001(環境マネジメントシステム)を取得して、組織を取り巻く、すべてのヒト(地域住民、利害関係者)、モノ(水、空気など)に対して、組織が与えている「環境側面」を明確にした中で、「発生の可能性」・「検知の可能性」及び「影響度の大きさ」毎に5点満点にて影響度を評価しています。総合評価の高い項目に●印をつけ、特に「環境課題」として位置づけ、低減及び撲滅の為に取り組んでいます。

品質保証体制に関しては、4段階の検査、品質リスクアセスメントによるリスク分析と改善及び、定期QA監査により、不良品を「作らない」・「流さない」・「受け取らない」という体制を構築しています。また、現場技能員・スタッフへの品質教育訓練とTQM(Total Quality Management)改善活動を推進し、品質向上を図っています。

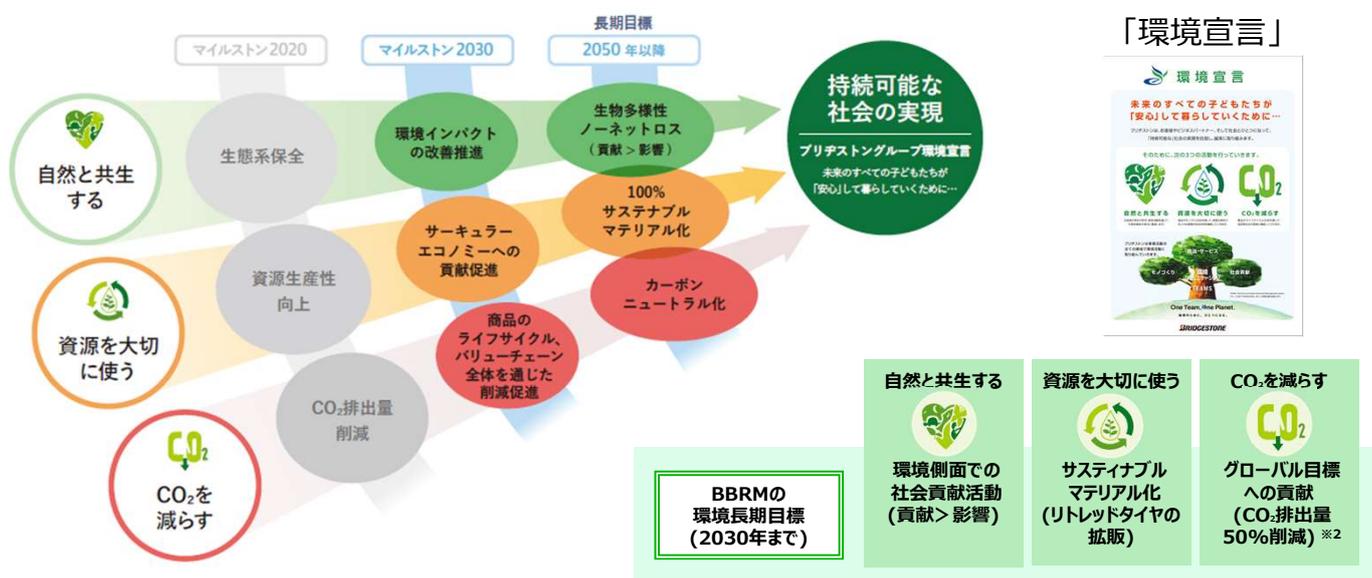
(4) 2050年を見据えた環境中長期戦略

企業理念体系	<p style="text-align: center;">使命：最高の品質で社会に貢献</p> <p style="text-align: center;">安全宣言 / 品質宣言 / 環境宣言</p>
ビジョン	<p style="text-align: center;">Bridgestone 3.0 / 第三の創業</p> <p style="text-align: center;">2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして、社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ</p> <p style="text-align: center;">タグライン： Solutions for your journey</p>

ブリヂストングループは、ビジョン「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして、社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」の実現に向け、サステナビリティを経営の中核に据えた中長期事業戦略の実行を進めています。

1) 2050年を見据えた環境中長期目標

当社グループは、環境宣言に込められた「未来のすべての子どもたちが、『安心』して暮らしていくために・・・」という変わらない思いのもと、環境課題に重点的に取り組んできました。2050年を見据えた環境長期目標では「CO₂を減らす」活動についてはカーボンニュートラル化、また「資源を大切に使う」活動については100%サステナブルマテリアル化^{*1}を掲げており、サーキュラーエコノミーの実現に貢献していきます。環境長期目標の達成に向けて、2012年に策定した中期目標「マイルストーン2020」を前倒しで達成し、次のステージに向けた新たな中期目標「マイルストーン2030」を策定しています。



2) マイルストーン2030に向けたBBRMの取り組み

BBRMでもCO₂削減促進に向けて、生産におけるCO₂排出量の削減にとどまらず、「断トツ商品」・「断トツサービス」・「断トツソリューション」により顧客価値を提供しながら、お客様の使用時、再利用・リサイクルの過程におけるCO₂削減に貢献していきます。

CO ₂ 削減へのアプローチ	マイルストーン2030に向けた取り組み
化石燃料の削減	① 買電のグリーンエネルギーの調達
	② グリーンエネルギー自家発電(太陽光)
生産エネルギー効率向上	③ 生産エネルギー効率向上(省エネ)

^{*1}：当社グループでは、「継続的に利用可能な資源から得られ、事業として長期的に成立し、原材料調達から廃棄に至るライフサイクル全体で環境・社会面への影響が小さい原材料」をサステナブルマテリアルと位置づけています

^{*2}：基準年：2011年

(5) ブリヂストングループの戦略とBBRMの位置づけ

ブリヂストングループは、環境中期目標「マイルストーン2030」の一環としてサーキュラーエコミーへの貢献を促進していきます。

ブリヂストングループは、2020年に中長期事業戦略を推進する中でサステナビリティビジネス構想を発表しました。

CO₂排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」と資源を循環利用する「サーキュラーエコミー」の実現に向けた活動が、事業と連動して車輪の様に回り続けることを目指しています。



リトレッドタイヤとは

一次寿命が終了したタイヤのトレッドゴム(路面と接する部分のゴム)の表面を決められた寸度に削り、その上に新しいゴムを貼付け、加硫し再利用(リユース)するものです。トレッドゴム以外の部材(台タイヤ)を再利用できるため、省資源に貢献します。



ブリヂストングループは、SDGsの達成に貢献し、安心・安全な移動を支え、社会価値と顧客価値の創出を両立することで、競争優位を獲得し、社会・お客様・当社が共に、Win-Win-Winとなるサステナビリティビジネスモデルの構築を目指しています。

CO₂削減、資源循環との連動については、タイヤのトレッドを貼り換え再利用するリトレッドをベースにしたTire to Tireを実現しており、今後はリサイクル事業を通じて、Tire to Rubber、Tire to Raw Materialへの循環を実現する取り組みを進めていきます。モノづくり領域、お客様の使用段階、リサイクルまでを含めたバリューチェーン全体でカーボンニュートラル化やサーキュラーエコミーの実現に貢献し、事業としても、それぞれの事業の価値が循環することを目指しています。



カーボンニュートラル

= CO₂排出実質ゼロ

私たちが排出するCO₂を減らすだけでなく、製品を通じてお客様のCO₂削減にも貢献する



サーキュラーエコミー

= 資源の循環利用ができる経済

タイヤ製品を資源ととらえ、お客様により長く、より経済的に使っていただくことに貢献する。



(6) リトレッドビジネスの戦略

成長事業：リトレッド サステナビリティビジネス構想の中核となるリトレッドソリューション

■ タイヤライフサイクルにおける環境貢献



社会 価値

- ・複数回リトレッドで使用原材料削減 – 資源生産性向上へ貢献
- ・製造時CO₂排出量削減

顧客 価値

- ・持続可能な社会の実現に向け、事業者様のサステナビリティ活動、価値向上に貢献

ブリヂストングループでは、お客様が使用されたタイヤのすり減った表面(トレッド)部分を貼り替え、再び使用可能となったタイヤをお届けするリトレッドソリューションをグローバルで展開しています。当社独自の技術をベースに、リトレッドに適した高耐久・耐偏摩耗の「断トツ商品」と適切なメンテナンスの提供により、1本のタイヤを複数回リトレッドすることが可能となり、この「断トツ商品」、リトレッド、メンテナンスの組み合わせを定額料金でサブスクリプションパッケージ※1として提供することで、お客様にタイヤを安全に、より長く経済的にご使用いただくことができます。

また、リトレッドタイヤは原材料使用量の削減による資源生産性の向上や、CO₂排出量の削減に貢献します。お客様に当社のタイヤを3回使用いただく前提で、新品タイヤを3本使用した場合と、新品低燃費タイヤ1本を2回リトレッドして使用した場合を比較すると、リトレッドでは、お客様の使用段階を除くライフサイクル全体での原材料使用量及びCO₂排出量を半減できます。

当社グループは、こうしたリトレッドソリューションを、タイヤの資産価値を最大限に活用し、安全性・環境性・経済性・生産性といった社会価値・顧客価値を両立することができる当社のサステナビリティビジネスモデル、タイヤセントリックソリューションの中核と位置づけています。

※1：トラック・バスの事業者向けにタイヤの販売だけでなく「ゴムの張り替えサービス」や「メンテナンス」を1つのパッケージとして提供するもの

**新品タイヤ+リトレッドタイヤ使用は
新品のみに比べ資源量とCO₂排出量の削減に貢献します**

(7) 「持続可能な社会の実現」に向けての戦略

BBRMは「持続可能な社会の実現」に向け、ブリヂストングループの経営の基本方針に基づき、それをBBRMのスローガン・行動指針としてブレイクダウンし、従業員一人ひとりにまで浸透させることで、実現を目指してきました。

その中で、経営を進める軸となるのは、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして、持続的に社会価値・顧客価値を提供している会社へ」というビジョン実現に向けた企業コミットメント

「Bridgestone E8 Commitment(ブリヂストン イーエイト コミットメント)」です。

ブリヂストンらしさにこだわり定義した「E」で始まる8つの価値(Energy、Ecology、Efficiency、Extension、Economy、Emotion、Ease、Empowerment)を、ブリヂストンらしい目的と手段で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えていく事を、BBRMの社員一人ひとり意識・行動することで、「持続可能な社会の実現」に向けてBBRM全体としての社会に対する責任を果たしていくことができると確信しています。



上記を支えるグローバル方針・ガイダンス類

- ・行動規範「Code of Conduct」
- ・グローバル人権方針 Global Human Rights Policy
- ・グローバルサステナブル調達ポリシー Global Sustainable Procurement Policy

BBRMのスローガン・行動指針

社員一人ひとりへの浸透

「持続可能な社会の実現」

5. 「持続可能な社会の実現」に向けての取り組み

「最高の品質で社会に貢献し続けるために」

ブリヂストングループの企業理念における使命は、「最高の品質で社会に貢献」です。これは、商品、サービス、技術にとどまらず、あらゆる企業活動において、お客様にとって一番良いものは何かを追求し、提供することです。そして、企業の利益だけでなく、広く社会の発展に寄与し、世界の人々の安全と、快適な生活を支えることを表しています。また、この「使命」を掲げる「企業理念」と「安全宣言」「品質宣言」「環境宣言」を企業理念体系として整備し、これを基盤にブリヂストングループが行う活動のさらなる展開・進化に取り組んでいます。



「企業理念」

ブリヂストングループの企業理念体系



「安全宣言」

「品質宣言」

「環境宣言」

(1) BBRMの目指す姿とスローガン

BBRMはブリヂストングループの企業理念体系に基づき、スローガンを「**No.1のリトレッドでお客様・地球環境に貢献**」と定めています。

「全ては未来の子どもたちのために」

21世紀は環境の時代と言われています。未来の子どもたちが安心して暮らしていける地球環境づくりのため、私たちが製造している環境に配慮した「リトレッドタイヤ」及び、全ての事業活動を通して社員一丸となり「お客様・地球環境に貢献」していきます。

ブリヂストンの使命	最高の品質で社会に貢献
何のために	全ては未来の子どもたちのために
何をするか (スローガン)	No.1のリトレッドでお客様・地球環境に貢献 リトレッドタイヤを中心とした環境商品の提供や製造・販売活動、及び社員一人ひとりの行動を通してお客様（ステークホルダー）と地球環境に貢献
Value (価値観)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 社員を大切にする <ul style="list-style-type: none"> ・ 社員の成長が会社の成長 ▶ チームワーク <ul style="list-style-type: none"> ・ 尊敬・感謝・謙虚の気持ちを持ちつつ ・ 仲間を大切にし、信頼を深める



(2) 全ての基盤は「社員の活性化と成長」

「持続可能な社会の実現」のキードライバーが、ブリヂストンの「経営の基本方針」・「BBRMのスローガン」です。そしてそれを可能にする最重要事項が「社員一人ひとりへの浸透」であり、具体策が「社員の活性化・成長」と認識しています。

私たちは「社員を大切にし社員の成長を促す、社員の高いモチベーションづくり」のために、「活いきプロジェクト」の6つの改革をベースに、人財(社員)づくりをしてきました。

6. 基盤となる社員活性化活動

(1) 生きいきプロジェクト

活性化の柱は「6つの改革」 2017年7月「生きいきプロジェクト」スタート

2017年、社員が「BBRMで働いて本当に良かった」と思える会社をつくりたい！
そういう熱い思いで2017年7月にキックオフしたのが「生きいきプロジェクト」です。
6つの分科会で構成され、社員が生きいきと働き、自らが成長できる、誇りを持って働ける会社づくりを目指して活動しています。

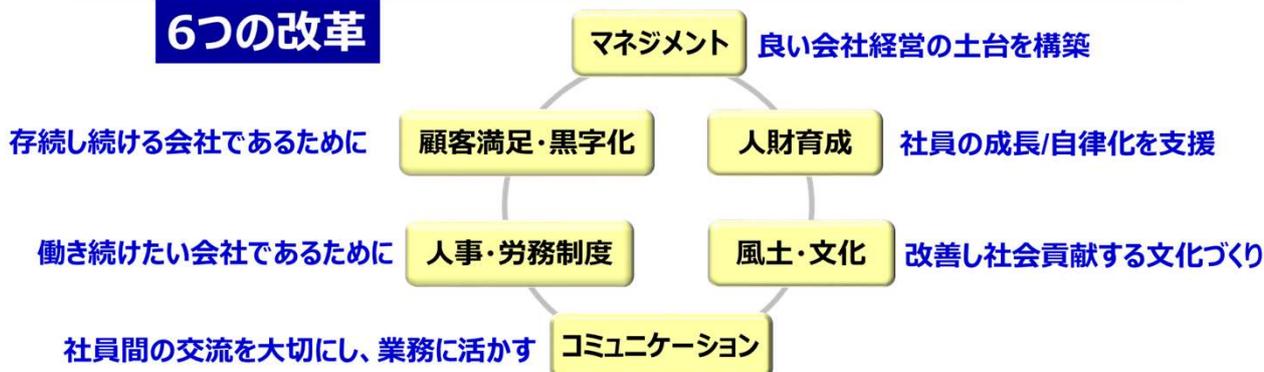
狙い 社員が生きいきと働き、社員が成長する会社づくり (誇りを持って働ける会社)

➡ ①「安全」「安心」な職場づくり ② 人が集まる会社づくり ③ 利益確保、永久存続。

“生きいきプロジェクト” 2017年7月始動

(目標：2022年(会社創業60周年)「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」受賞)

6つの改革



6つの改革

生きいきプロジェクトを推進していくにあたり、社員の活性化・満足度アップ・成長を図る為には、「マネジメント」「人財育成」「風土・文化」「コミュニケーション」「人事・労務」「顧客満足・黒字化」の6つの分野の改革が必要と考え活動に取り組んで来ました。

「顧客満足・黒字化」については、私たちの事業は、自社の生産・販売活動のみならず、お客様から使用済みのタイヤを回収するなど深く係わりがあり、そのことで社会貢献、会社の成長があるということから取り組み項目に入れていきます。

生きいきプロジェクトスローガン

BBRMの未来を築いていくのは「私たち若手社員」！
経営層からのトップダウンの指示ではなく、高いモチベーションとボトムアップの取り組みで、みんなが魅力ある将来のBBRMを作っていくのだと、熱い想いを込めたスローガンです。

※このスローガンは、全社員に公募し全社員が社内投票の上、決定したものです。



誰もが輝く！職場スローガン
「働きがいのある職場部門 優秀賞」受賞 (主催：埼玉県公労使会議)

第11回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞

審査委員会特別賞 受賞



「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞

2021年3月、BBRMは「第11回日本でいちばん大切にしたい会社」大賞で審査委員会特別賞を受賞することが出来ました。

「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞は、「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞実行委員会、法政大学大学院中小企業研究所、人を大切にする経営学会®が主催し、(1) 従業員とその家族、(2) 外注先・仕入れ先、(3) 顧客、(4) 地域社会、(5) 株主をはじめとするステークホルダーを大切にし、人の幸せを実現する行動を継続して実践している会社の中から、その取り組みが特に優良な企業を表彰することで、他の企業の範とすることを目的としているものです。

BBRMは未来の子どもたちが健やかに暮らせる地球環境を維持・改善する為、目指すべき姿を「全ては未来の子どもたちのために」と定め、「持続可能な社会の実現」に向け、リトレッドタイヤの製造・卸売を通じてお客様・地球環境への貢献に取り組んでいます。それを実現するため社員共通で大切にしている価値観が「社員を大切にする」「チームワーク」であり、創業者の思いを受継いだものです。今回の審査員会特別賞の受賞に際しては、こうした取り組みが評価されたものと考えています。



「資源循環技術システム表彰受賞」 (主催：産業環境管理協会)



「資源循環技術・システム表彰」は、一般社団法人産業環境管理協会が、経済産業省の後援のもと、廃棄物の発生抑制・使用済み物品の再使用・再資源の有効活用に寄与し、高度な技術などを有する優れた事業や取り組みを表彰する制度です。

(2018年10月11日受賞)

「リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 会長賞受賞」 (主催：リデュース・リユース・リサイクル推進協議会)



「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」は、循環型社会の形成に向け、廃棄物等の3R(リデュース・リユース・リサイクル)に率先して取り組み、資源の有効利用、環境への負荷の低減に継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている団体等を表彰する制度です。

(2018年10月30日受賞)

(2) 6つの改革とは

マネジメント

【企業価値向上活動】

BBRMでは、2018年度より「環境経営」「健康経営」「ダイバーシティ」の3本の柱に加え、良い会社づくりで企業価値向上、企業ブランド作りに取り組んできました。

社員の健康増進、優良環境企業を目指した取り組み、また、男女が共同して参画することのできる職場づくり、積極的な地域の方々の工場見学の受け入れ、イベント参画による社会貢献を数多く実施してきたことで、2021年は21件の表彰・認定を頂くことが出来ました。

(件) 【社外表彰獲得 年間件数推移】



<外部表彰取得をベースとした企業価値向上の3本柱>



【2021年度企業価値取得一覧】

区分	内容	主催
環境経営	宮城県大崎地区危険物安全協会	大崎危険物安全協会
	千歳危険物安全協会	千歳危険物安全協会
	北海道認定リサイクル製品	北海道
	ECOちとせ	北海道
健康経営	健康経営企業等表彰	倉敷市
	安全衛生に係わる埼玉県労働局長表彰	埼玉県労働局
	埼玉県健康経営実践事業所	埼玉県
	やまぐち健康経営企業	山口県
	さが健康企業宣言優良企業認定制度	佐賀県
	さが健康企業宣言	佐賀県
	健康経営優良法人(中小企業)	経済産業省
	北海道グリーンビズ認定制度	北海道
	健康優良企業(銀の認定)	健康保険組合
	清流の国ぎふ健康経営宣言企業	岐阜県
ダイバーシティ	埼玉県多彩な働き方実践企業(ゴールド)	埼玉県
	やまぐち男女共同参画推進事業者認証書	山口県
良い会社	日本で一番大切にしたい会社	人を大切にする経営学会
	Bridgestone Division Awards	BSJ※
	Bridgestone Group Awards	BSJ
	ハタラクエール	(株)労務研究所
	スポーツエールカンパニー	スポーツ庁

※ BSJ = 株式会社ブリヂストン 日本タイヤ事業管掌

【企業理念の唱和(BBRMの誓い)】

いい会社というものは、ちゃんとした企業理念、目指すべき目標がしっかりとあることとされています。私たちブリヂストングループには「最高の品質で社会に貢献」という素晴らしい使命があります。

BBRMはその創業者の使命を受け継いでいくために

目指すべき姿：「すべては未来の子どもたちのために」

そのために何をするか：「No. 1 のリトレッドでお客様・地球環境に貢献」を浸透させるため、「BBRMの誓い」というものを作成し、日々の朝礼等で唱和をしています。

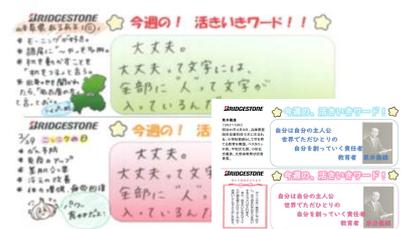
また、毎週トイレにブリヂストングループの「行動規範」、「著名な方が残したい言葉」を記した、今週の活いきワードというものを掲示し、視覚で企業理念を浸透させる取り組みもしています。



(「毎朝の朝礼で企業理念」・「BBRMの誓い」唱和)



(ブリヂストングループの「行動規範」・「BBRMの誓い」勉強会)



今週の活いきワード & 行動規範(毎週)

BBRMの健康経営

私たちの会社は、過去には健康上の理由で長期療養される方も、非常にたくさんおられました。いい仕事をするには、「社員とその家族が健康で、活きいきと、笑顔で仕事や諸活動に取り組んでもらわないといけない」との思いで、2020年から会社方針の一つとして「健康経営」を取り入れ活動推進をしています。推進に際しては、「健康経営スローガン」を制定するとともに、より体系的、効率的に活動を推進できる様、中期目標を織り込み全社員が楽しく健康になれるような取り組みを実施しています。

●健康経営スローガン

輝く未来 つないでいこう みんなの健康

会社と社員皆さんが同じ方向を向いて活動をする為、上記のスローガンを掲げました。社員とご家族の皆さんに健康でいて欲しい、健康でいることの喜びを感じて欲しい、この様な想いを込めたスローガンです。

※このスローガンは、全社員に公募し全社員が社内投票の上、決定したものです。

●健康経営ガイドブック



社員の健康管理・健康づくりを推進することにより、社員の健康状態や問題の早期発見・対策、また、生活習慣病やメンタル

不調を予防・とどまらず、「断トツ商品」・「断トツサービス」・「断トツソリューション」により顧客価値健康経営ガイドブックを作成しました。

中期でKPI目標を定め、社員の生活習慣病予防・改善に活かせるガイドブックとなっています。

●健康経営中期目標

中期サブKPI	2019実績	2020		2021		2022計画	2023計画	2024計画	2025計画
		計画	実績	計画	実績				
1. BMI有所見率(%)	28.9	28.0	29.7	25.0	27.9	22.0	19.0	16.0	14.0
2. 高血糖(%)	22.6	22.0	19.7	20.0	17.2	18.0	16.0	14.0	11.0
3. 高血圧(%)	14.9	14.0	35.2	12.5	46.5	11.0	9.5	8.0	7.0
4. 悪玉コレステロール(%)	38.1	38.0	22.5	34.0	30.6	30.0	26.0	22.0	19.0
5. 喫煙率(%)	38.3	33.8	35.0	29.3	28.8	24.8	20.3	15.8	12

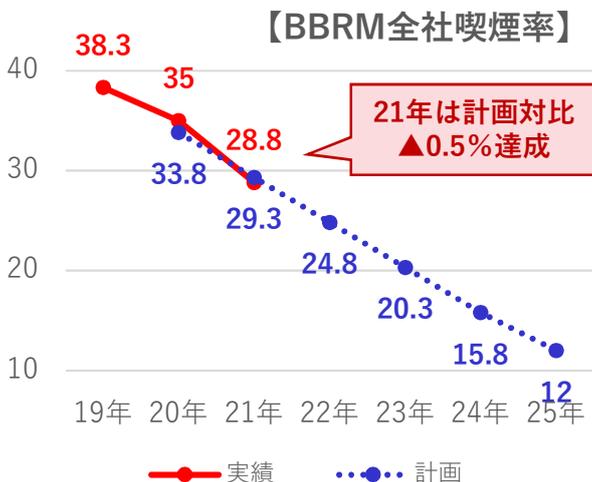
【備考】

- BMI：肥満指数
- 血糖値：血液中のブドウ糖の数値
- 高血圧：健康リスクの高い収縮期血圧
- 悪玉コレステロール：LDL-Cの事、冠動脈疾患の危険因子
- 喫煙率：喫煙している社員の率

BBRMでは健康を管理する上で、重要な数値をKPIとして項目を選定し、健康改善に取り組んでいます。KPIの内、健康に関する項目は、定期健康診断で自分の健康状態がどのレベルにあるか把握し、KPI項目に挙げている項目を改善、維持する様指導をしています。

●健康経営取り組み紹介（一部）

●喫煙率 2025年12%必達への取り組み



BBRMでは、「健康経営ガイドブック」で2025年までに喫煙率を12%にするという目標を掲げています。

●これまで取り組んできた施策

- ① 喫煙者全員のブリヂストン健康保険組合主催「卒煙チャレンジ」への参加
- ② 全部署、毎月卒煙実施計画書作成と月次フォロー
所属長→本部長→人事・総務部→社長の順に回覧
⇒毎月喫煙率の算出、フォロー実施
- ③ 健康つうしんで喫煙についての情報発信
- ④ 禁煙セミナー実施

● 口コミ診断



年に1度、50歳以上の全社員対象に「口コミ健診」を実施しています。

この健診は、いつまでも自立した生活を送るために、運動器のチェックを行い、自身の運動器レベルを把握してもらう為に行います。元気で立ち上がり、歩けることは、自分のため、家族のため、そして社会のためにも大切です。

● 健康つうしん発行

月2回、健康に関する様々な情報を、「健康つうしん」として発信しています。COVID-19への注意点、受動喫煙についてなど、社員全員の健康増進に役立つよう頑張っています。



● 感染予防対策 費用補助

【インフルエンザ】

毎年9月～12月の期間内でインフルエンザの予防接種を受けた社員及びそのご家族（プリチストン健康保険組合加入者に限る）に対し、予防接種代の一部を補助しています。会社内での集団接種の他、かかりつけ医や自治体にての接種も申請可能です。



【COVID-19】

COVID-19が疑われる社員に対し、会社が必要と認めた場合PCR検査代を補助しています。具体的な判断基準を設けて、安全安心に社員が暮らせるよう、しっかりサポートしています。

● サークル活動の支援

サークル活動を通し運動することで、生活習慣病予防、また、体を動かすことでストレス発散を促し、メンタルヘルス対策にもつながる様、活動を支援しています。



(スノーボードサークル)



(ゴルフサークル)



(登山・スポーツサークル)



(フィッシングサークル)

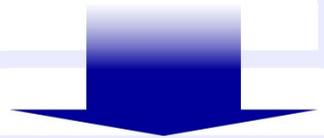
● 健康イベント年間スケジュール

1月	<ul style="list-style-type: none"> 家族でストップ！ かぜキャンペーン2/2 卒煙チャレンジ1/3 		
2月	<ul style="list-style-type: none"> 卒煙チャレンジ2/3 		
3月	<ul style="list-style-type: none"> 卒煙チャレンジ3/3 		
4月～5月	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断 ストレスチェック 特殊健康診断 口コミ健診 	7月	<ul style="list-style-type: none"> 健康セミナー2/3 体重測定チャレンジ1/2
6月	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症予防セミナー 健康セミナー1/3 	8月	<ul style="list-style-type: none"> 健康セミナー3/3 体重測定チャレンジ2/2 卒煙チャレンジ1/3
		9月	<ul style="list-style-type: none"> 卒煙チャレンジ2/3
		10月	<ul style="list-style-type: none"> 特殊健康診断 卒煙チャレンジ3/3 プリチストンKEN歩1/2 禁煙外来(予定)
		11月	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ予防接種 プリチストンKEN歩2/2
		12月	<ul style="list-style-type: none"> 家族でストップ！ かぜキャンペーン1/2
		毎月	<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生委員会
		月2回	<ul style="list-style-type: none"> 健康つうしん

BBRMのダイバーシティ

ダイバーシティ(多様性)とは人種、国籍、年齢、性別、性的指向、性自認、障害の有無、仕事歴、生活スタイルなどに加え価値観や考え方といった個人の内面的な違いを互いに認め合い、その個性・特性を生かした能力を発揮できる風土を醸成していくことです。

BBRMでも、BSJのガイドラインに基づき活動を推進していますが、以下の3つの考え方をベースに、より良い企業文化・職場環境を創造し、永続する企業を目指しています。



●ダイバーシティブック



1. 特別な場面や特定の人だけを対象にするのではなく、普通の場面で誰もが気持ちよく、生きいきと仕事ができる環境を作る。
2. 大上段に構えるのではなく、できることからコツコツと社員の参画意識を高めながら改善を積み上げていく活動とする。
3. ダイバーシティを通じて、お互いを尊敬し利他の精神をもつ人財の育成を推進する

●ダイバーシティ中期目標

BBRMでは、中期目標において、社員が仕事と生活を両立させながら、働きがい・成長を実感し、健康に、生きいきと働くことができる為のダイバーシティの中期目標を設定し、取り組みを推進しています。

「未来の子供たちが安心して暮らしていける社会」づくりを目指し、さらなるイノベーションと価値創造を築いていきます。

●障がい者が活躍できる仕事の創出中期目標

障がい者	2021実績	2022目標	2023目標	2024目標	2025目標
①.障がい者法定雇用率	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%
②.①を確保するための障がい者社員数	7	6	7	7	7
③.②障がい者雇用数	0	1	2	0	0

法定雇用率の維持、障がい者が活躍できる仕事の創出を図ります。
また、多目的トイレやスロープ、手すりや段差解消などの環境整備を2022年より順次進めていきます。

●シニアが活躍できる仕事の創出中期目標

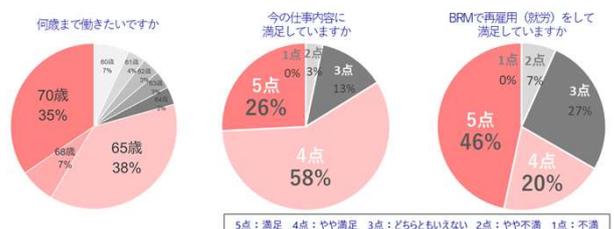
シニア中期KPI	2021実績	2022目標	2023目標	2024目標	2025目標
シニア満足度	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5
シニア再雇用率	80%	83%	85%	87%	90%
定年再雇用就労年齢制限	63	64	64	64	64

シニアが活躍できる仕事の創出(仕事の軽量化)を図ります。
また、手すりや段差解消などの環境整備を2022年より順次進めていきます。

BBRMの現状



現在、BBRMで活躍している55歳以上の社員と再雇用社員にアンケート調査を行いました。
今後もBBRMでより長く活躍できる環境づくりを積極的に推進していきます。



人財育成

【人財育成ガイドライン】



【CDP10か年計画策定】

職別	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
主任	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
中堅	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
新任	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

【いい会社訪問研修】



「CDP(キャリア・デベロップメント・プログラム)・サクセッションプラン」・「能力評価」・「人財育成システム/教育プログラム」を基本軸とした人財育成、合わせて、いい会社訪問研修、感動物語研修等、あらゆる知識を習得できるユニークなベンチマーク方式を活用した人財育成を行っています。

キャリア・デベロップメント・プログラム 10か年計画では、各本部の本部長が自分の組織の中の人財をどのようなタイミングでローテーション・異動させるか、また、それを実施するためにどのような資格を取らせなければいけないかということが一目でわかるような、人財育成計画も策定しています。

BBRMでいい会社づくりを推進していく上で、最も重要視しているのが「いい会社訪問研修」です。日本でいちばん大切にしたい会社大賞受賞企業、3Sが素晴らしい企業等にベンチマーク、訪問させて頂き、社員のレベルに見合った活動を社内に取り入れています。

コミュニケーション

【サークル活動・家族を交えてのイベント】



社員間のコミュニケーション、活きいきとした社風の醸成を目指し、事業・業務関連以外のスポーツ、文化活動、趣味の活動の仕組みを体系的に構築したり、社員のご家族を交えての花見や納涼祭を開催し、家族ぐるみで交流を図ったりと社員の声を取り入れたコミュニケーション活動を推進しています。

【1on1メール面談】

BBRMでは2020年から、上司と部下による1対1の面談を定期的に行い、仕事上の悩みだけでなく、部下の困りごと、歳の差や立場を気にせずざっくばらんに相談できる機会を設けています。まだまだごちない面談になっているケースもありますが、コミュニケーションの密度を上げることにより、お互いの理解・信頼の向上につながっています。



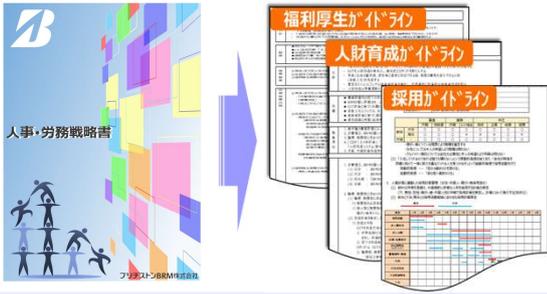
【社長からのバースデーカード】



毎月誕生日を迎える全社員に対し、会社代表が社員への感謝・思いを含めて、直筆でメッセージを届けています。バースデーカードをもらった一部社員からは、社長に感謝の手紙を逆に送付するなど、コミュニケーションツールの一つになっています。また、社長にも社員からサプライズで社長の奥様にバースデーカードを送付し、日頃の感謝を伝えています。

人事労務

【人事労務戦略書】



- ◆コンプライアンスガバナンス方針
- ◆人事方針
 - 1) 採用方針
 - 2) 人材育成方針
 - 3) 昇進・ローテーション制度方針
- ◆労務方針
 - 1) 賃金体系・昇給体系方針
 - 2) 勤務形態方針
 - 3) 福利厚生方針
- ◆ダイバーシティ推進方針

①方針 ②目標 ③施策

人事労務戦略書作成に当たっては、上記8つの項目に関し、外部環境も鑑みそれぞれの項目ごとに方針・中期目標(各項目が機能し成果が上がっているかを推し測るKPIを決定し中期の目標値を設定)・具体的な施策を明文化しました。
また、この戦略書は要領化し、通常業務に落とし込んで推進しています。

人事労務戦略 中期目標

戦略	項目/目標	現状	2019年	20年	21年	22年以降
採用	内定辞退率「0%」	0%	0%	0%	0%	0%
	募集人数に対して応募人数「10倍」	2倍	4倍	6倍	8倍	10倍
	新卒者雇用率「50%以上」	24% (71名)	26% (76名)	28% (81名)	30% (86名)	31% (91名)
人材育成	女性雇用率「10%以上」	5.8% (17名)	6.2% (18名)	6.5% (19名)	6.8% (20名)	7.2% (21名)
	「BRMの悪い」選考の評価点4年で4点以上	3.8点	3.85点	3.9点	3.95点	4.0点以上
	「教育訓練時間」総労働時間の5%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	5.0%
	「教育訓練費用」売上比0.7%/年	0.06% (1-9月)	0.1%	0.2%	0.3%	0.4%
勤務形態	所定内労働時間「1,900時間内」	1,900H	1,900H	1,900H	1,900H	1,900H

【福利厚生 充実化の取り組み】

● 勤続3年を祝う 夢叶式



以前のBBRMは、入社3年以内の社員が離職することも多かったため、入社3年を祝う夢叶式(むとしき)も、福利厚生制度の一つに取り入れしました。
若手社員の意見を取り入れ、どうしたら離職者が減り、社員のモチベーションアップさせることが出来るか、皆で話し合い決めた制度です。

● BBRMの福利厚生 『見える化』 (認知度UP)



BBRMは「社員を大切にする」ことを共通の価値観として掲げ、福利厚生を充実させておりますが、社員の大半は、自社にどのような福利厚生があるのか具体的に答えることが出来ませんでした。
福利厚生の認知度向上に向け、若手社員が目を引くような、ポップ調のポスターを作成し、食堂のボードに掲示すると同時に、福利厚生ブックも作成し社員に配布をしました。

● サプライズおむっケーキ



社員のモチベーションアップになる施策はないか、若手社員で話し、お子さんが生まれた家庭には、社員に内緒でサプライズで「おむっケーキ」のプレゼントをしています。
特に、男性社員の奥様からは非常に好評を得ています。

【改善力強化活動】

問題解決能力向上活動については、従来から実施していたものの、ただの形だけになっていたこともあり、本当の改善スキル・思考が身についておらず、実際の問題解決に役立っていないという状況にありました。この解決策として、社員一人ひとりの問題解決能力を向上させ、パフォーマンスの向上、業績の向上を図る手段として、全社・全員参加の改善活動として、「TQM(Total Quality Management)活動」を強化しました。

具体的には、2018年下期に本体TQM推進部門やG-MEC(Global Manufacturing Education Center) の出張研修を受講し、部門毎の社内TQM推進者を育成。次に、そのTQM推進者が先生となり、毎月部門毎にTQMテーマ研究指導をWeb会議にて実施し、各地区社員の問題解決力の向上を図っています。

その効果もあってか、2019年、2020年にはBTSJ※1主催の小集団改善活動全国大会最優秀賞受賞。2021年には、同大会で2チームがブロック大会を勝ち上がり全国大会に出場、結果、最優秀賞・優秀賞・感動賞と全ての賞を獲得出来るなど、確実に成果が上がってきました。

※1 BTSJ：プリチストンタイヤソリューションジャパン株式会社

部門別（一般社員）の活動

- ・工程ごとにチームを編成
 - ・活動期間 / 1～12月(1テーマ/3ヶ月)
 - ・テーマは工程の改善事案や困り事をチームで改善に取り組む。
- プレゼンテーション資料は作成せず、ビフォー➡アフターの写真や資料を工程へ掲示、活動が浸透してきている。

(例) 加須工場 B7工程チーム



目的：カイゼンの着眼点、基本的QC手法を身につけ、カイゼンに親しむ。

【20-21年取組み】 BTSJ 第17・18回 事例発表全国大会

回	ランク	部署	テーマ
第17回	最優秀賞	中部業務部	物流効率化 ～製品配送・台タイヤ回収業務のスラック化～
	優秀賞	北海道業務部	商品集約化による 業務改善・経費削減への取り組み
	感動賞	西日本業務部 南九州営業所	相互訪問・多能工化による ステップアップの取り組み ～小さな営業所でも出来る事～
第18回	最優秀賞	人事・総務 / 経理本部	ムダ取りで労働環境改善へ!! ～TIME-3X、RPAの導入へ～

次戦 2022年4月12日
Jリージョン TQM大会出場※2

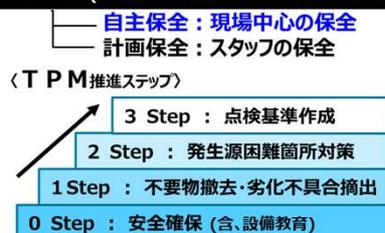
※2 JリージョンTQM大会出場：株式会社プリチストン主催の、TQM日本国内予選大会のこと

【TPM(Total Productive Maintenance)活動】

BBRMには設備・保全機能がないことから、設備の故障や不具合が生じた時は、業者を呼び修復してもらうことが通常でしたが、社外に依頼した場合、修復までに多くの時間をロス、また、多額の費用も発生することが課題でした。

この対応策として、故障が発生しないように日々、自分たちの設備は自分たちの手でメンテナンスを行う「TPM活動」を2018年に導入しました。具体的には、プリチストン本体の保全経験者のもと、管理監督者が勉強も兼ねモデル設備を決めて実施。その後、各作業員もメンバーに加え展開することで機械故障も削減することが出来ました。

TPM(Total Productive Maintenance)



加須職制モデル



【3S(整理・整頓・清掃)レベルの向上 (「感動する3S」から「まねできない3S」へ)】

BBRMでは2019年より「感動する3S/まねできない3S活動」を導入し、職場環境の改善に取り組んで来ました。また、こうした活動がBBRMの文化として定着するよう、2020年より、3Sソムリエ制度を導入、各事業所ごとに責任者を定め、3Sソムリエの育成も行って来ました。
 ただ単に工場・事務所内の不要なものを廃棄し、職場内の棚や机などを使いやすいよう整理・整頓・清掃するのではなく、もう一つの目的として、人間力や規律を向上させるために取り組んでおり、人間形成を実施する意味でも重要な取り組みとして活動を推進しています。

現在では「改善指向の3S」として、スルラクを追求した整頓のキーワード「ワンルック・ワンショット・インアウト」の改善事例を取り入れ、定期的に現場を巡回チェックしお互いの目線合わせを行っています。

【3Sの流れ】



《改善指向の3S》

『One-Look』	一目で何がどこにあるかが判る 見易い、異常or非異常が判る
『One-Shot』	一発で取り出せる 戻せる、操作できる
『In-Out』	先入れ先出し

全社一丸となって取り組んだことで、安全で快適な職場環境づくりが行われただけでなく、改善へのプロセスを全員で共有することによって社員一人ひとりのモチベーションもアップしています。

改善事例

『One-Look』
キャビネット内 見える化

『One-Shot』
インクナーの取り出し容易化

『In-Out』
パブ行程の先入れ先出し
(スラブ・パッチ)

3S活動マニュアル作成

2021年の進め方 「3Sソムリエ」育成計画

① 加須事業所・防府事業所 21年育成スケジュール

育成ステップ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① 基本共通教育	2020年11月-12月で実施済み											
② ソムリエ研修												
③ 改善テーマの着眼・改善支援												
④ 改善成行過程支援												
⑤ ソムリエ認定(防府)												
⑥ ソムリエ認定(加須)												

『3Sソムリエ』認定

『2021年3Sソムリエ』認定

防府事業所 3名 加須事業所 4名

② 関事業所 21年育成スケジュール

育成ステップ	21年7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月
① 基本共通教育												
② ソムリエ研修												
③ 改善テーマの着眼・改善支援												
④ 改善成行過程支援												
⑤ ソムリエ認定(防府)												

『3Sソムリエ』認定

仙台事業所・千歳事業所については、2022年下期展開

顧客満足/黒字化

【感動する工場見学～おもてなし～】

私たちには、いつもの工場見学かもしれない。しかし、お客様にとっては一生に一度しかBBRMの工場を見学することが無いかもしれない。ならば、お客様が涙を流されるような感動する工場見学をコーディネートしたい。そんな熱い思いで始めた、感動する工場見学プロジェクトです。

具体的には、下記を推進しています。

- ・お出迎え出来るスタッフ社員全員による歓送迎(お出迎えの際は横断幕を掲示)
- ・Welcomeボード、Welcomeマット、Welcomeペットボトル等を事前準備
- ・工場見学時の工程毎作業員が整列しての挨拶
- ・活いきボード、帰る際の「無事かえる飴」配布等

結果として、お客様からは非常に高評価を頂く事が出来、その日の夕方に注文を頂いたり、自社の社員にも見学させたい等のご意見を頂く事も出来ました。また、BBRMの工場見学がブリヂストン販売部門の拡販施策の一つにもなったという嬉しいお言葉もいただいています。

今後も、これに満足することなく、お客様にとって一番よいものは何かを追求し、新たなおもてなしを常に考え提供できる様、頑張っていきます。

お客様へ感動を与えたい...

その一心で若手社員が“おもてなしグッズ”を製作

『12コのマニュアル(ガイドライン)』

- 活いきPJマニュアル
- 人事・労務戦略書
- 人材育成ガイドライン
- サステナビリティレポート
- 健康経営ガイドブック
- 3Sマニュアル
- 福利厚生制度ガイドブック
- 活いきワードコレクション
- 社会貢献活動レポート
- 企業価値向上レポート
- 障がい者とともに
- ダイバーシティガイドブック

お客様の名前入りオリジナルお茶ラベル

無事かえる飴

手書きのウェルカムシート

お客様へのメッセージQRコード

BRM名物ウェルカムボード

西鉄運輸株式会社 首都圏営業部

社員一同でお出迎え

工程毎に心を込めてご挨拶

工場見学にお越しになられたお客様の声 (一部)

- ◆ お出迎え・お見送りに感動した (高級旅館並みの歓迎)
- ◆ お客様満足度を超越した感動をさせて頂いた
- ◆ 社会貢献活動・社員教育・製品品質管理等、多くのことを学ぶことができた
- ◆ 工場社員の挨拶が素晴らしい (作業中にもかかわらず、手を止めて挨拶して頂いた)
- ◆ 3Sが行き届いており、想像をはるかに超えた綺麗な工場であった
- ◆ 見做うことが非常に多くあり、当社の幹部も数回に分けて勉強させたい
- ◆ 工場見学の際、社員全員の方がそろって挨拶をされた時、感激して涙が出ました

社員活性化の後戻りしないための仕組み作り

2017年より約4年半、様々な社員活性化の取り組みを行って来ました。

ある程度の枠組みと活動については結果も見えて来て、お客様・地域社会からも一定の評価を頂けるまで成長出来ました。

しかし、社員への浸透度・満足度という点では、今後も継続的な改善が必要です。また、大企業の子会社ということで、定期的に会社代表が代わりますが、それによってせっかくの良い活動が衰退することの無い様、歯止めをうつ為、全ての活動をマニュアル・要領化しました。

『12コのマニュアル(ガイドライン)』

- 活いきPJマニュアル
- 人事・労務戦略書
- 人財育成ガイドライン
- サステナビリティレポート
- 健康経営ガイドブック
- 3Sマニュアル
- 福利厚生制度ガイドブック
- 活いきワードコレクション
- 社会貢献活動レポート
- 企業価値向上レポート
- 障がい者とともに
- ダイバーシティガイドブック

【活いきPJマニュアル】

《各活動マニュアル》



【人事労務戦略書】

《人事・労務戦略 中期目標》



【人財育成ガイドライン】

《各研修カリキュラム》



【ダイバーシティガイドブック】



【3Sマニュアル】

《3S実施ガイドライン》



BBRMの活動が文化になるよう要領化済（社長が変わっても勝手に変えられない様にする）

活いきボード

これまで説明してきた様々な各分科会での取り組みや、関連する会社情報が社員に一目でわかるように社内の食堂や休憩室等、皆が集う場所へ、「活いきボード」という掲示版を設置しました。創意工夫を凝らして作成しているため、華やかで明るい掲示版となっています。またイベントや社員の趣味を入れるなど社員が目を引くような工夫もしました。このボードで若い社員に会社の良いところをもっと知ってもらい話題を提供できればと日々更新をしています。



7. SDGsで見る2021年度環境活動総括



持続可能な開発目標(SDGs)への貢献

私たちは、SDGsと聞くと何か特別なものの様に感じてしまいがちですが、日頃我々が行っている事業活動(リトレッドタイヤの製造・卸売)、社会貢献活動の全てがSDGsそのものなんだという事を社員に理解して頂く事から教育をしています。

「エアコンを使すぎない」「エコドライブ運転」「食べ物を粗末にしない」など、皆さんが日頃行っていることが、実は「持続可能な17の開発目標」に関係しており、一人ひとりですること、学校・団体と一緒にできること、会社だからできるとを日々感じながら活動をして頂いています。

小さい行動だって、集まったら大きな行動になる！それが私たちの合言葉です。私たちはSDGs活動に積極的に取り組むとともに、未来の子どもたちが安心して暮らしていける地球環境を維持できる様、活動を進めていきます。

2021年BBRM「SDGs活動取り組み評価」

下記の表は、BBRMのSDGs活動に対する各目標ごとの評価点になります。次頁以降で紹介する、「私のSDGs活動」の取り組み、社員約300名分の記載内容をサステナビリティレポート事務局がチェックをし、点数付け、評価点としました。

No.	アイコン	BBRMの主な取り組み	評価点	No.	アイコン	BBRMの主な取り組み	評価点
1		ユニセフ募金 切手寄贈 自動販売機募金 ペットボトルキャップ収集	10	9		自然災害があっても直ぐに復旧できる インフラの整備(電気・水道・IT) ICカードでコピーの印刷管理実施 工場の未来型投資の計画実施	4
2		食品ロス(食事の食べ残し)をしない 賞味期限消費期限の違いを知って、 期限内に食べる 食べきれぬ量を考えてムダ買いをしない	10	10		貧しい国に生まれた子供達の支援 女性や障がい者への差別をなくす	10
3		産業医講話・禁煙セミナー 体重計・血圧計設置 有給休暇の取得推進 献血 アルミ缶寄贈	10	11		地域清掃活動 困っている人がいたら助けてあげる ボランティア・ホンデリング ^{*1}	10
4		部門別、階層別教育の提供 緊急事態対応訓練 資格取得支援 多能工化の推進	9	12		事務用品のグリーン調達 廃棄物削減、不能率削減 ゴミの出ない製造工程や仕組みを作る 不要な買い物をしてない	9
5		女性が働きやすい職場環境整備 育児休暇の取得推進 多様な勤務形態	6	13		温室効果ガス削減 エコドライブ運動推進、省エネ家電・ 電気機器への更新、フロン使用機 器類の管理	7
6		水質汚濁防止 節水 工場排水の管理、浄化槽の管理、 油類貯蔵施設の管理	7	14		プラスチック容器を使用しない レジ袋をもらわない 海や川の清掃活動を行う	5
7		不要照明の消灯 省エネ家電・電気機器への更新 デマンド監視システム運用、 ハイブリッド車導入 家庭で太陽光発電設備設置	9	15		エコピアの森活動 ボランティア、事務用品のグリーン調達 (再生紙利用他)、スキャナー・PDF の有効利用、両面印刷の推進 マイ箸運動	8
8		安定雇用 持続的な利益の確保 活いきプロジェクト活動 女性や障がい者への差別をなくす	7	16		外国人や高齢者の活躍をサポートする 女性が活躍できる体制を作る 全ての人に平等のチャンスを与える 選挙に参加し自分の意見を届ける	3
				17		ユニセフ募金・ホンデリング 個人や企業が手を組み、お互いの強み を活かしてSDGsに取り組む	8

^{*1} ホンデリングとは、本(ホン)で支援の輪(リング)が広がってほしいという願いを込めて名付けられたもので、家庭で不要になった本やCD(アルバムのみ)、DVD等を寄贈し、それを業者に売却して得た代金を、犯罪被害者の支援活動を行う「公益社団法人京都犯罪被害者支援センター」に寄付する活動です。

SDGsを身近なものに

～「私たちの職場のSDGs活動」「私のSDGs活動」～

2018年より始まった当社のSDGs活動。BBRMの目指すべき姿、「全ては未来の子どもたちのために」を実現する為に、地域社会を舞台に取り組みを実施しています。そのためのベースにあるのが「私の職場のSDGs活動」、「私のSDGs活動」の2つです。まずはSDGsをもっと身近な活動と感じてもらうため、日々私たちが会社や家庭で取り組んでいることを書き出してSDGsの文脈で見つめ直す、ということを実践しています。

①「私たちの職場のSDGs活動」

SDGsをもっと身近な活動と、皆に取り組んでもらった「私たちの職場のSDGs活動」も気づけば2年が経過、最近では、本社事務局が何も言わなくても、定期的に掲示物を新しいものに交換してくれるなど、SDGs活動が社内に浸透してきていることを、肌で感じられるようになりました。私たちは、このSDGsに積極的に取り組むことで、企業として、企業価値の向上はもちろん、人財採用活動においても優秀な人財を惹きつける魅力ある企業になれる。又、顧客に対しても社会・環境に優しい企業であることをアピールできる企業になれるよう、更なる成長を目指して頑張ります。

自分たちの日々の事業活動が、全てSDGsに結びついています

【私たちの職場のSDGs活動ポスター】

SDGs項目	SDGs項目毎に日々、自分が取り組んできた施策を記入しよう! №2
1	貧困をなくそう
2	飢餓をゼロに
3	持続可能な開発のための健康を確保しよう
4	質の高い教育をみんなに
5	ジェンダー平等を実現しよう
6	安全な水とトイレを世界中に
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8	働きがいも経済成長も
9	産業と技術革新の基盤をつくろう
10	人や国を超えて公正で包摂的な成長を促そう
11	持続可能な都市をつくらせよう
12	つるやぶをなくして
13	気候変動に具体的な対策を
14	海の豊かさを守ろう
15	陸の豊かさも守ろう
16	公正で包摂的な社会を
17	パートナーシップで目標を達成しよう

玄関スペースに掲示



工場見学ルートに掲示



事務所に掲示



お客様のお出迎えスペースに掲示



環境宣言

未来のすべての子どもたちが「安心」して暮らしていくために...

ブリヂストンは、お客様がビジネスパートナーとして格別のご信頼を賜り、「持続可能な社会の実現」に貢献していきます。

そのために、次の3つの活動を行います。

- 自然と共生する
- 資源を大切に使う
- CO₂を減らす

ブリヂストンが推進する「環境」に関する活動は、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

モビリティ、社会貢献、環境、CO₂削減、TEAMS

One Team, One Planet.

BRIDGESTONE

No.1のリトレッドでお客様・地球環境に貢献

- 自然と共生する**
工場周辺清掃活動
エチオピアの森活動
- 資源を大切に使う**
照明のLED化
デマンド監視システム導入と運用
- CO₂を減らす**
ボイラー室保温工事
バフ集塵機インバーター化

～サステナブルなコメントに微笑む～

今年の「私の職場のSDGs活動」は、例年になく環境・ダイバーシティへの意識の高まりか、個人・部門だけの取り組みではなく、リレッドタイヤを通じ、私たちが日々取り組んでいる事業活動を通じた環境改善のコメントが多く、少しずつですが社員が成長しているなど嬉しくなりました。

- 下記、少しですがコメントの紹介をさせていただきます。
- 計画的な多能工化の推進で、作業改善に努めます
 - 性別・人種・国籍に関係なく、お互いが認め合い、活躍できる職場環境を目指して頑張ります
 - 可能な限り、再生可能エネルギーを活用しリレッドタイヤを生産できる職場環境を考えます
- これからも環境に優しいリレッドタイヤ、社会貢献活動を通じてSDGs活動を推進していきたいと思ひます。

【防府工場のSDGs活動】

デジタル化を加速させ、もっと社員が働きやすい職場環境を構築します

女性・障がい者・シニアが働きやすい職場環境を、社員全員が協力して整備していきます

私たちが製造しているリレッドタイヤを、もっと普及させることで、温室効果ガスを削減していきます



私のSDGs活動

BBRMでは「持続可能な開発目標」に向けた会社の取り組みとしてSDGs活動に積極的に取り組んでいます。「私のSDGs活動」では会社の取り組み以外でも日常の家庭生活の中で何気なく取り組んでいることを家族と一緒に楽しく書いてもらっています。最近では学校でSDGsの取り組みが行われているためか、多くのご家庭で子供たちが率先してたくさんのSDGs活動に取り組んでいることがわかります。さらに、COVID-19の感染拡大の影響で、家庭内で過ごす時間が増えた影響なのか、家事を行う際の節電や節水、ごみのリサイクルについて男性社員からのコメントも増えています。項目を考えながら記入することは、自分がどのような活動をしてきたかがわかりやすくなり、家族や同僚とSDGsについて話をするきっかけにもなります。意識することは活動するための一歩となります。「私のSDGs」活動は、「みんなが安心できる満足した暮らし」に向かって一步一步進んで行くための取り組みを「楽しく実行」することだと考えています。



I・M

所属/千歳工場

入社年月/2018年1月

私が取り組んでいるSDGs活動

- ① ユニセフ・自然災害復興・教育支援活動団体への寄付
- ② 環境にやさしい洗剤の利用
- ③ フェアトレード商品の購入
- ④ 循環コンビニを活用



社長から感謝のコメント

SDGs項目毎に日々、自分が取り組んできた施策を記入しましょう！ No.1

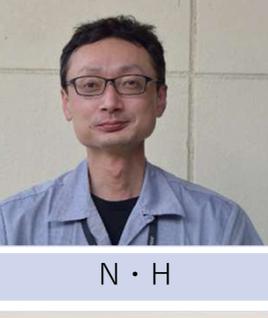
所属：千歳 工場/業務部/管理 氏名：一揆 山 上下期(6月-12月)が終了時点で、部門長様へ提出をお願いします

No.	SDGs目標	内容	社内の具体的な取組	私のSDGs取組んだこと
1	【貧困をなくす】	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ
2	【健康と福祉】	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ
3	【すべての人に健康と福祉を】	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ
4	【質の高い教育をみんなに】	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ
5	【ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを】	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ
6	【安全な水とトイレを世界中に】	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ
7	【エネルギーをみんなにそしてクリーンに】	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ	お金の節約、お金の使途の管理に禁止事項を打つ

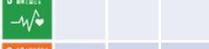
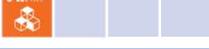
私のSDGs活動

	所属/北海道業務部	入社年月/2005年2月	私が取り組んでいるSDGs活動			
			① 子供を通じてペットボトルキャップを学校へ寄付			
			② 子供に好き嫌いによる食べ残しをしないように教育			
			③ 献血活動と減塩活動			
	F・K		④ 子供にSNSの書き込みマナー等を教育			
	所属/東北業務部	入社年月/2016年10月	私が取り組んでいるSDGs活動			
			① 希望者に自分の取得資格のアドバイスや応援			
			② 地域行事への積極的な参加			
			③ 不要になった洋服を障がい者施設へ寄付			
	K・T		④ 事業所・コンビニ・スーパーでの募金活動			
	所属/加須工場	入社年月/2021年11月	私が取り組んでいるSDGs活動			
			① 省エネモードでのエアコンの使用			
			② 地元で育てられた野菜等の購入			
			③ 食材や食品は食べきれる量を購入			
	K・H		④ 不要になった洋服の寄付			
	所属/関東業務部	入社年月/2001年11月	私が取り組んでいるSDGs活動			
			① 日本健康検定マスター取得			
			② 家庭での油汚れは一度拭いてから洗うようにする			
			③ 不要な文庫はリサイクル			
	T・M		④ 食料品の廃棄がなくなるよう家族で話し合いをした			
	所属/関工場	入社年月/1995年11月	私が取り組んでいるSDGs活動			
			① 禁煙セミナーに参加し、禁煙に成功			
			② 家庭菜園の実施			
			③ 家の外灯をソーラーLEDに変更			
	M・M		④ 国際紛争や平和に関する情報をTVなどで見て理解する			
	所属/中部業務部	入社年月/2015年10月	私が取り組んでいるSDGs活動			
			① 食品は必要な分だけ購入			
			② バス・電車等で優先席を利用しない			
			③ ルートを考えた自動車の運転			
	G・J		④ 電化製品等のエコモードの活用			

私のSDGs活動

	所属/防府工場	入社年月/2018年5月				
	私が取り組んでいるSDGs活動					
	①	募金活動への参加				
	②	釣りに行った際の清掃活動				
	③	選挙への積極的な参加				
N・Y	④	効率のいい運転を心がける				
	所属/西日本業務部	入社年月/1980年6月				
	私が取り組んでいるSDGs活動					
	①	省エネ家電、ソーラーパネルの購入				
	②	持山の管理				
	③	体重、血圧の管理				
S・Y	④	募金型自販機の活用かつペットボトルキャップの寄付				
	所属/生産技術	入社年月/2010年3月				
	私が取り組んでいるSDGs活動					
	①	食べ残しをしない、無駄な食品破棄をしない				
	②	見た目による偏見を持たない				
	③	選挙での投票				
N・H	④	省エネ家電への変更、待機電力の削減				
	所属/人事・総務	入社年月/2019年11月				
	私が取り組んでいるSDGs活動					
	①	禁煙プログラムの実施				
	②	産休、育休に理解を示す				
	③	洗濯用洗剤を使用せず、自然に影響のない酸を使用				
Y・A	④	選挙では必ず投票する				
	所属/南九州営業所	入社年月/2012年11月				
	私が取り組んでいるSDGs活動					
	①	会社に血圧計設置。週に一回計測する				
	②	多能工の実施				
	③	コンプライアンスの遵守				
S・T	④	募金活動				
	所属/九州営業所	入社年月/2012年4月				
	私が取り組んでいるSDGs活動					
	①	ペットボトルキャップの収集				
	②	エコドライブ運動推進				
	③	不能率削減				
Y・K	④	スキャナー、PDFの活用				

私のSDGs活動

	所属/岡山営業所	入社年月/2019年10月
	私が取り組んでいるSDGs活動	
M・S	① 使用済切手の寄贈	
	② 節水、節電	
	③ 献血	
	④ 生産、不良削減	

	所属/仙台工場	入社年月/2012年6月
	私が取り組んでいるSDGs活動	
S・Y	① スチームクリーナーの使用で洗剤削減	
	② フードバンクへ食品の寄付	
	③ すぐに消費する食材などは消費期限の近い物を購入	
	④ 住居地域の公園のごみ拾いを継続的に実施	



当社環境経営の最新情報はHPでチェック！！



8. 価値共創への招待～信頼の醸成

(1) 安全



私たちはリトレッドタイヤを通じ、お客様をはじめとしたあらゆるステークホルダーの皆さまが、安心・安全に暮らせる社会環境の実現に努めています。
 社有車へのドライブレコーダー・テレマティクス導入。速度超過・長時間連続運転の撲滅のみならず、運行経路最適化による自社配送率UP、訪問先の見える化により、誰もが安心できる交通環境の構築を推進しています。

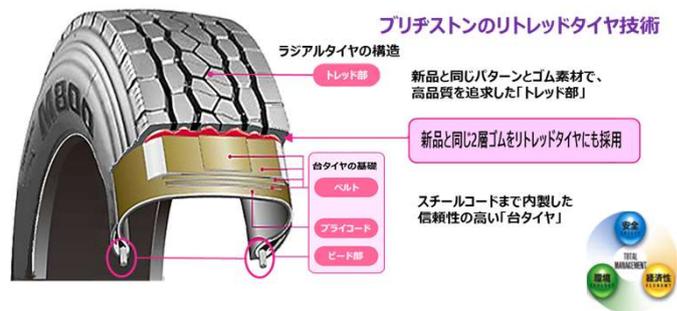
交通安全への取り組みスケジュール

時期	1Q 1～3月	2Q 4～6月	3Q 7～9月	4Q 10～12月
社内 取り組み	準備 ● 展開 ・安全管理体系 確立 ・『安全指導責任者』選抜 ・Mission伝達 ・チェックリスト編集(改訂)	全ドライバー対象 添乗Check 上位職者・本社幹部 添乗 ・リストに沿って 動作チェック・指導 ←... 低スキル者対象 抜き打ち追跡(テレマティクス活用) ...→	分析 低スキル者対象 添乗Check 指導者責任者 添乗 ・低スキル者 抽出 ・『安全指導責任者』が 直々に添乗指導	効果検証 22年施策検討
	準備 ・メニュー選定(外部機関) ・安全指導員 お試し体感	社外 実技研修 ・19年 加害/自損事故 対象者向け	社外 実技研修 ・20年上期 加害/自損事故対象者 新任ドライバー向け	21年以降、 20年指導で改善の 兆しが見えないものにも 対象範囲拡大

リトレッドタイヤの安心・安全を追求

「2層ゴム構造で、走行時の安全性を高める」

ブリヂストンのリトレッドは、新品タイヤと同じ「2層ゴム」を採用しています。「2層ゴム」を採用する事により、走行時にタイヤが屈曲する事で起こる、内部の発熱を低減させてバースト発生等を抑制する効果があります。



物流効率化

「配送・回収経路の最適化を実現し、
 軽油消費量の削減を目指す」



製品配送・使用済タイヤ回収時における走行経路の「スラク(スルスル楽々)化」を図ります。
 具体的には、倉庫拠点の集約、ならびに担当者のエリア割りを方面別にする事によりトラックの走行距離の短縮化を実現しています。
 2020年に中部地区で実証実験を行った結果、タイヤ1本あたりの運搬距離が3.7%削減しました。

交通安全啓発活動

「交通安全キャンペーンに連動した活動」



春・秋・冬の年3回実施される、「全国交通安全キャンペーン」とBBRM独自で設定した「安全の日(5月)」に、出社時と退社時に幹部が正門の前に立って、安全運転を呼び掛けています。

『安全運転講習会』の日

「定期的な安全教育の実施による意識の醸成」

毎年5月『BBRMの安全の日』、9月『グループ防災の日』に合わせ安全運転講習会を実施しています。
2020年からは、COVID-19拡大の影響もあり、講習会もWeb研修に変更し実施しています。
また新たな取り組みとして、「ドライブシュミレーター」教育を導入し、個々の運転に関する強み、弱みを分析して頂き、日々の安全運転に活かしています。



ドライブシュミレーター実施風景

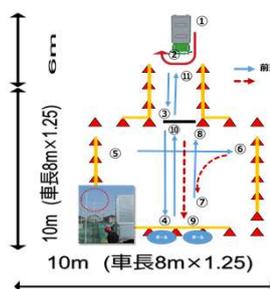


ドライブシュミレーター装置

安全運転講習会(5・9月)



『たこつぼ運転』コース 狭路コース走行訓練



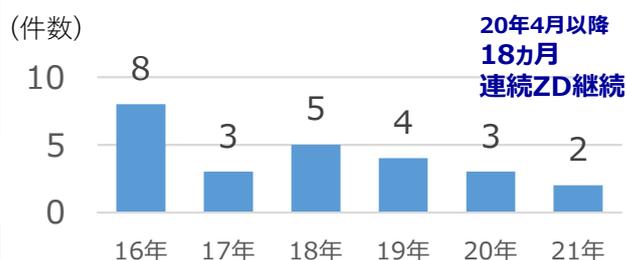
『たこつぼ運転訓練※』の実施

「たこつぼ運転訓練」の実施による、安全運転技術の向上

過去から軽微な接触事故が後をたたない中、「たこつぼ運転訓練」を実施する事で、ドライバーの特徴を把握して安全運転への参考にしていきます。
これまで年数件の接触事故が恒常的に発生していましたが、たこつぼ運転訓練実施以降、2021年9月時点で連続18ヵ月無事故を継続しました。
2021年はたこつぼの大きさを変更し更なる運転技術向上を目指しています。

※たこつぼ運転訓練：狭いコース内で切り返して脱出する、自損事故防止のための訓練（2020年から年1回実施）

【過年度 トラック乗務中の事故発生件数 推移】



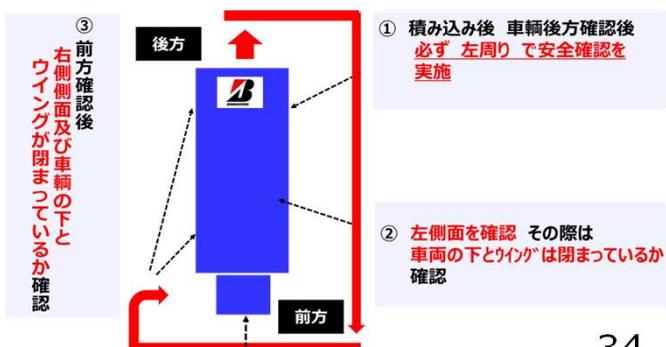
私の「交通事故・労災ZD&環境」宣言

交通事故・労災ZD宣誓書を有効活用し上司／部下とのコミュニケーションツールのひとつとしてフォロー活動を推進しています！！



BBRMでは、交通事故・労災ゼロに向け、毎年一年間の目標、及び、環境目標を年初にたてます。
四半期ごとに所属長と面談、そしてその間、自分が立てた目標に対し、どの位取り組みが出来たかを所属長と、半期に1回面談を実施し、安全行動に活かしています。
安全のみならず、通常のコミュニケーションツールとしても活用できています。

安全の標準作業出発前のトラック一周での安全点検の徹底



BBRMでは主な保有車両が大型及び中型トラックのため、出発前は必ず、この図の様にトラックの周りを、後方から一周して出発する様徹底して指導しています。
荷台後方から時計回りに確認することで、全ての箇所を目視、点検したあと、乗車することが出来ます。

(2) 環境

ブリヂストンBRM(株) 環境方針

『環境保全』・『脱炭素』は企業が果たすべき極めて重要な社会的責任です。

特に、リトレッドタイヤは、ブリヂストングループのサステナビリティ活動の中核をなす商品であり、リトレッドタイヤ事業を展開する当社にとっては最重要課題です。

この認識に立ち、未来のすべての子供たちが『安心』して暮らしていく為の持続可能な社会の現実に向け、ブリヂストン『環境宣言』を実行し、「環境優良企業」を目指します。



1) 共通

- ①ただ単にリトレッドタイヤの製造・卸をすることによって環境貢献するだけでなく、生産・販売・環境貢献・地域社会貢献・一人ひとりの活動全てを通じて、地球環境に貢献することをBRMの環境貢献活動のドメインとします。
- ②環境に関わる法律、規制、協定、及び組織が同意するその他の要求事項を遵守するとともに、環境保全の目標を毎年見直し、継続的な向上を図ります。
- ③更に上の環境経営を目指し環境の確保、向上を図るため体制を整備し、従業員への環境教育を徹底します。

2)自然と共生する

適正な操業を常に心掛け、環境貢献活動・地域社会貢献活動に積極的に参加し汚染の予防を徹底します。

3)資源を大切に使う

- ①すべての事業活動及び個人の活動を通じて廃棄物の削減と適正処理、省エネルギー活動を推進し良好な環境の向上に努めます。
- ②当社と関係する会社・人々と積極的な対話を通じ環境に良いリトレッドタイヤの普及に努めます。

4)CO₂を減らす

再生可能エネルギーの積極的導入や適性運転、効率的な輸送方法推進により、燃費削減に努めます。

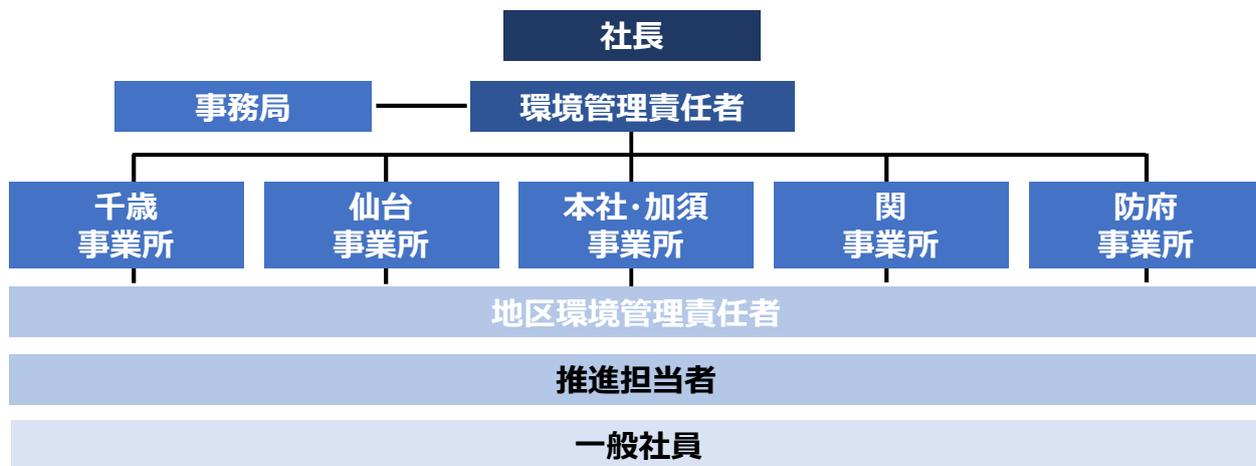
2021年1月6日

署名: 須藤克己

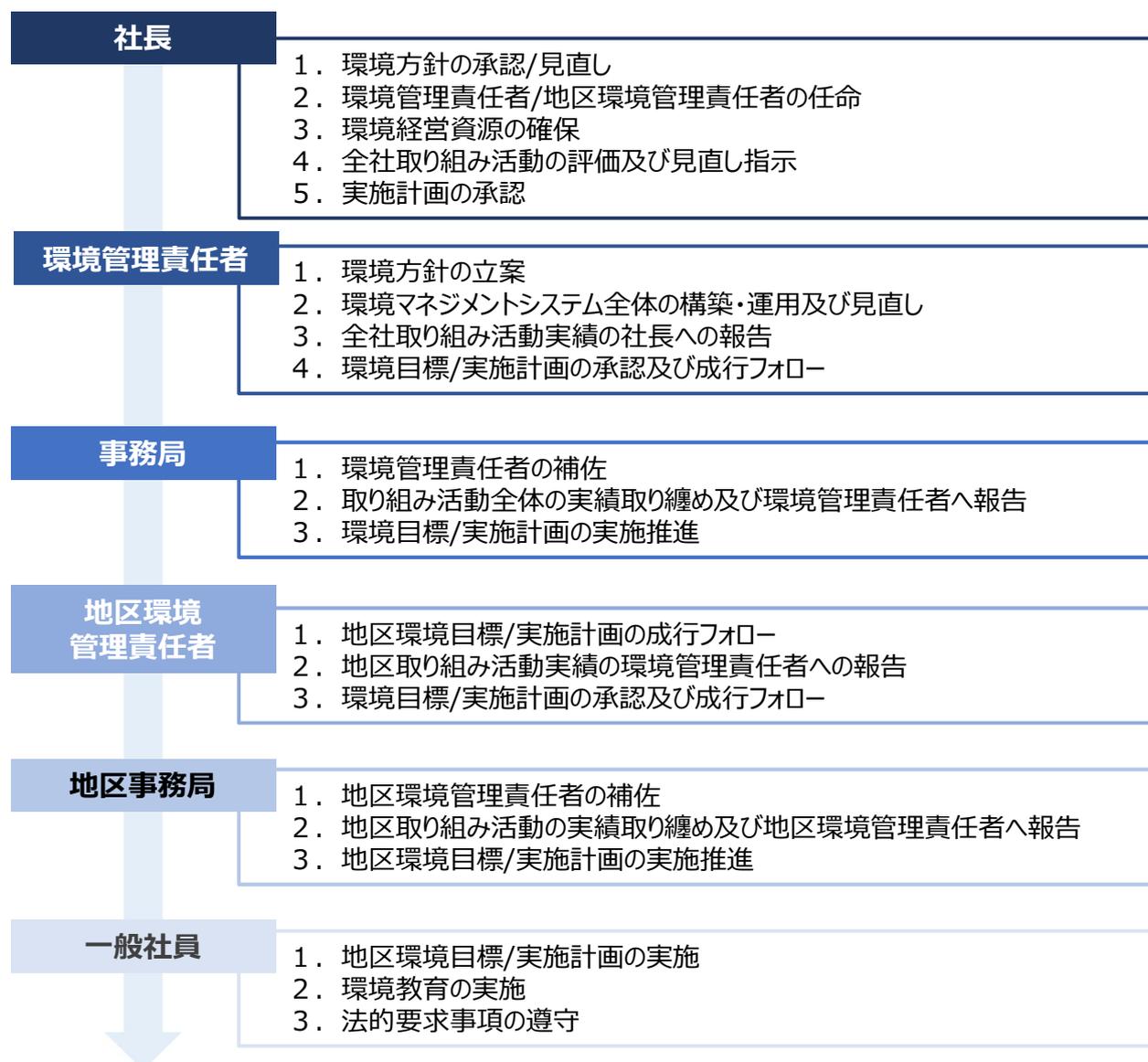
ブリヂストンBRM代表取締役社長

1) 環境マネジメントシステム

① 実施体制組織図



② 役割と責任及び権限



2) 環境活動への取り組み

未来のすべての子どもたちが「安心」して暮らしていくための「持続可能な社会」への構築及び環境貢献・地域社会貢献など様々な環境貢献活動に努めています。また、グループ共通の「環境宣言」に基づき、「自然と共生する」・「資源を大切に使う」・「CO₂を減らす」の領域において軸足を置き推進しています。

環境汚染防止活動

環境汚染による生態系への悪影響を防ぐ為、工場からの排出物は油や有害物質が混ざっていないか確認し、環境へのマイナス影響の低減を進めています。



pH測定装置



pH測定装置



油膜検知装置



ゲートバルブ



廃棄物の屋根下保管

工場周辺清掃活動

近隣にある用水路や事業所周辺のごみ拾い、草刈り等の清掃活動を定期的に行っています。地域貢献活動がBBRMの文化になる様、積極的に推進中です。



エコピアの森

環境を保全する活動として、株式会社ブリヂストン管轄の森林整備区域「エコピアの森」の環境保全に参加しています。

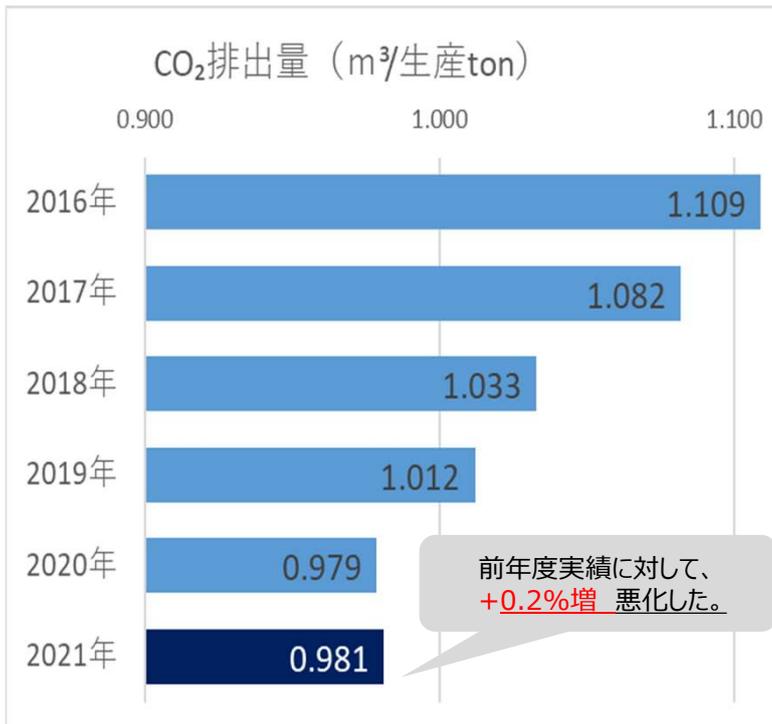


グリーンカーテン、野菜作り等

グリーンカーテンを育て、夏の環境の取り組みをしています。又、社内で野菜作りサークルをつくり、緑地の増加による環境保全活動を推進しています。



CO₂排出量 原単位の推移



2021年度削減活動に関する分析

前年比「0.2%」増という結果に…。

CO₂排出量の増加に影響を与えた要因は主にA重油使用量。生產品種構成変更によるエネルギー効率の悪化、地産地消体制による生産調整実施によりton当たりの原単位悪化が考えられる。

その中、加硫時間最適化を進め、エネルギー使用量の改善取り組み、また電力使用量の削減、ガス使用量の削減効果で、悪化の影響を最小限に抑えることができた。

A重油使用量 原単位の推移



2021年度削減活動に関する分析

前年比横ばい(微増)の結果。生產品種構成変更(軽サイズの増産)に伴い、ton当たり使用量が悪化した。加硫時間の短縮、エネルギー効率改善の効果により悪化部分を吸収し、ほぼ横ばいの結果となった。

次年度取り組み内容

- ・加硫時間の短縮検討を継続し エネルギー効率改善を進める
- ・スチーム配管、加硫設備の 保温材装着
- ・蒸気漏れの保守点検



電力使用量 原単位の推移



2021年度削減活動に関する分析

前年比「2.83%」改善！

- ・節電活動の推進
- ・不要照明の消灯(休憩・帰宅時)
- ・デマンド監視システム導入と運用、空調の適切な温度管理
- ・照明器具の省エネ化(LED化等)
- ・人感センサー付き照明の採用
- ・照明スイッチの細分化
- ・省エネ家電・電気機器への更新
- ・クール/ウォームビズ推進・生産工程の電力使用量管理

次年度取り組み内容

- ・自然エネルギーの活用
(太陽光発電設備導入)

軽油使用量 原単位の推移



2021年度削減活動に関する分析

前年比「7.42%」改善！

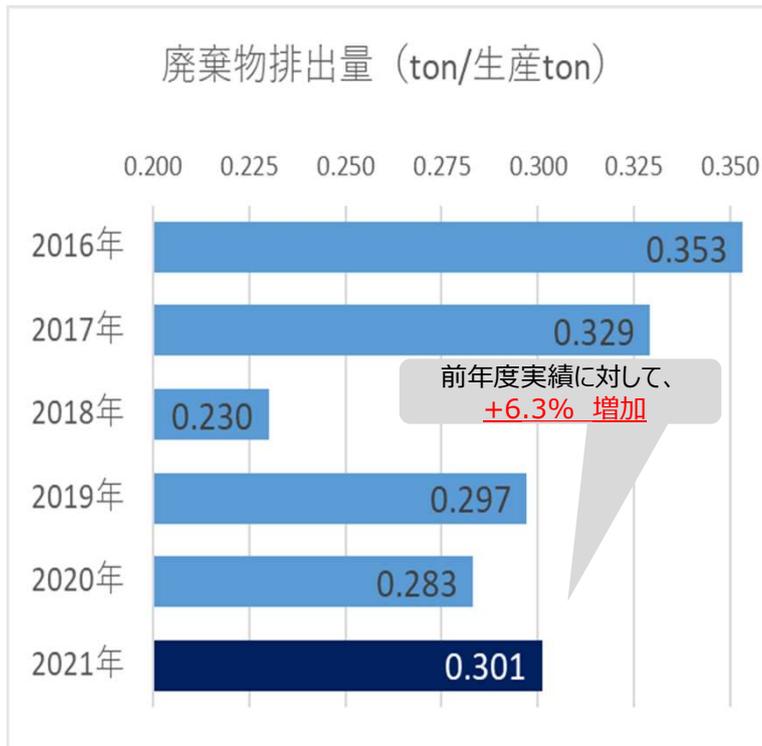
- ・テレマティクスを利用した配送ルート
の最適化
- ・エリア担当運行スケジュールをお客
様へ共有し、業務効率を改善
- ・ロット納品による納品回数最適化
- ・新車への代替の取り組み効果が出
ている

次年度取り組み内容

- 引き続き、
- ・配送オペレーションの最適化
- ・倉庫の運用管理
に取り組み、軽油使用量の削減
を目指す

廃棄物排出量 原単位の推移

2021年度削減活動に関する分析



前年比6.3%増加の結果に…。リトレッドタイヤの原材料となる使用済タイヤの不合格品が増えたことが要因。使用済タイヤを出来る限り回収し再利用しようとした結果、生産不合格判定品が増加している。販売店様への台タイヤ基準勉強会を実施。エリア担当、工場間での目線合わせ検討会実施。廃棄物の削減活動を行った。

次年度取り組み内容

・台タイヤ判定基準の見直しによるリトレッド可能範囲の拡大を検討

当社環境経営の最新情報はHPでチェック！！



3) 環境目標が達成された程度

<2021年度環境目的・目標の達成状況>

部署	環境目的・目標	目標値	実績	達成状況
総務/経理部	●SDGs（持続可能な開発目標）の推進 資源循環・地域社会貢献活動の推進			
	・ペットボトルのキャップ寄付、アルミ缶リサイクル	目標 月1回	12回	Good !
	・ホンデリング（本の寄付）、不要文房具寄付、 切手、カレンダー、ヘルマーク	目標 年1回	1回	Good !
	・献血	目標 年2回	3回	Good !
千歳工場	廃棄物の削減 3次不良（製造起因）の低減	目標 0.060%以下	0.041%	Good !
仙台工場	廃棄物発生量の削減 台タイヤの有効活用（リベルト生産の推進）	目標 8,024本以上	9,375本	Good !
	廃棄物発生量の削減 3次不良（製造起因）の低減	目標 0.060%以下	0.044%	Good !
加須工場	廃棄物の削減 3次不良率（リモールド）の低減	目標 0.055%以下	0.069%	あと一歩！
関工場	廃タイヤ発生量の削減 3次不良（製造起因）の低減	目標 0.060%以下	0.050%	Good !
防府工場	CO ₂ の削減 廃ゴム量（HOT）削減	目標 0.0417kg/本以下 （20年実績比2%減）	0.033kg/本	Good !
	CO ₂ の削減 廃ゴム量（COLD）削減	目標 0.2218kg/本以下 （20年実績比2%減）	0.242kg/本	あと一歩！
	重油使用量の削減	目標 5.35 L/本以下 （20年実績比1%減）	5.24L/本	Good !
	廃タイヤ発生量の削減 製造起因不合格率の削減（3次）	目標 0.06%以下	0.053%	Good !
北海道業務部	〔リトレッドタイヤの普及〕 11R22.5（台タイヤ）の確保 台タイヤの回収計画の達成	目標 33,930本以上 （前年対比100.2%）	37,169本	Good !
東北業務部	〔リトレッドタイヤの普及〕 11R22.5（台タイヤ）の確保 台タイヤの回収計画の達成	目標 34,731本以上 （前年比100.2%）	40,441本	Good !
関東業務部	〔リトレッドタイヤの普及〕 11R22.5（台タイヤ）の確保 台タイヤの回収達成	目標 90,165本以上 （前年比100%）	93,778本	Good !
中部業務部	〔リトレッドタイヤの普及〕 11R22.5（台タイヤ）の確保 台タイヤの回収計画の達成	目標 61,480本以上 （前年比100.2%）	56,106本	あと一歩！
西日本業務部 営業所	台タイヤ回収目標の達成 11R22.5（山口営業所）	目標 16,811本以上 （前年比100.2%）	18,111本	Good !
	台タイヤ回収目標の達成 11R22.5（岡山営業所）	目標 17,611本以上 （前年比100.2%）	19,472本	Good !
	台タイヤ回収目標の達成 11R22.5（九州営業所）	目標 16,137本以上 （前年比100.2%）	15,392本	あと一歩！
	台タイヤ回収目標の達成 11R22.5（南九州営業所）	目標 6,875本以上 （前年比100.2%）	7,113本	Good !

目的・目標、実施計画の登録件数 20件中、4件が目標未達となった。

製造側では廃棄物の削減での3次不良(製造起因)低減が1件、CO₂削減での廃ゴム量削減(COLD)の1件が未達項目。

業務側2件は何れも台回収計画未達(11R22.5台に限定)であり、回収人員不足(1件)、新型コロナ影響による活動の減少(1件)等が響き計画未達。

4) 教育訓練計画と実績一覧

2021年に取り組んできた、環境教育訓練計画及び実施状況を関連するSDGs項目に分けて纏めたものです。

教育・訓練内容	SDGs	担当者	実施計画	実施状況
全従業員に対する環境方針徹底教育	4 質の高い教育をみんなに	所属長	年1回	計画通り
電力に関する教育	4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動に具体的な対策を	工場長	随時 資格取得	現場従業員は 全員取得
廃棄物に関する教育	4 質の高い教育をみんなに 12 つくる責任 つかう責任	工場長	年1回	計画通り
大気に関する教育	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを	工場長	年1回	計画通り
水質に関する教育	4 質の高い教育をみんなに 6 安全な水とトイレを世界中に	工場長	年1回	計画通り
化学物質に関する教育	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に	工場長	年1回	計画通り
油漏洩を想定した訓練	4 質の高い教育をみんなに 6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを	工場長	年1回	計画通り
地震・火災を想定した避難訓練	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを	工場長	年1回	計画通り
環境法規制遵守教育	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを	地区 事務局	年2回	計画通り

上記の他にも、企業理念教育をはじめとし、環境に関する教育、SDGs教育など、社員を講師とした自社研修も積極的に行っています。



企業理念教育



SDGs教育



環境教育



5) リスクへの対応

① リスクマネジメントの概要

当社では、トップマネジメントの主導の下、ISO14001に基づく環境活動をPDCAの考え方に基づき進めています。また、大気・水質への環境汚染物質排出低減、抑制など環境リスクの低減活動に必要な人員を確保し、環境関連施設や廃棄物を適正に管理することで、工場全体の環境負荷低減に努めています。また、ISO14001に基づき緊急事態への対応手順を整備し、手順の有効性確認のための対応訓練を計画的に実施しています。

② 想定される緊急事態

当社が現在想定している緊急事態は以下7項目です。

- 1) 油類(A重油、ゴムガソリン、潤滑油等)の漏洩
- 2) ガス類(LPG、窒素)の地震による漏洩
- 3) ばい煙発生
- 4) 地震
- 5) 火災
- 6) 風水害(台風)
- 7) 健康リスクの高い感染症の流行

2021年度は、上記1)～5)の5つの緊急事態を想定した訓練を、下記の通り実施しました。

③ 緊急事態の対応および訓練状況

1) A重油漏洩緊急時処置訓練 (2021年9月8日実施)

A重油受入れ中に配管結合部から漏洩した場合を想定。
異常発見者が応援を呼び、連絡を受けた応援者が社外への流出防止処置を実施し、発見者が上司に連絡する訓練を実施しました。



2) オイル漏洩緊急時処置訓練 (2021年9月8日実施)



地震発生時、オイルタンクが倒れ漏洩した場合を想定。
地震後の現場パトロールで漏洩を発見。
応援要請と社外への流出防止処置の実施訓練を実施しました。

3) ゴムガソリン漏洩緊急時処置訓練 (2021年9月8日実施)

ゴムガソリン受入時にドラム缶を倒し漏洩した場合を想定。
受入れ立会者が応援を呼び、連絡を受けた応援者が社外への流出防止処置を実施しました。



4) セメント漏洩緊急時処置訓練 (2021年9月8日実施)



セメント室へのセメント搬入時に、誤ってセメントが漏洩した場合を想定。
セメント作業者が応援を呼び、社外への流出防止処置を確認、実施しました。

5) ガス類の緊急時処置訓練 (2021年9月8日実施)

地震発生時、フォークリフト用LPGボンベが倒れ、破損したボンベからガスが漏れた場合を想定。
被害状況確認者がガス漏れに気づき2次災害防止処置を実施しました。



6) 油水分離槽の緊急時処置訓練 (2021年9月8日実施)



地震発生時、油水分離槽の排水不具合により分離槽から排水が溢れだした場合を想定。
被害状況確認者が槽外へ漏洩した排水に気づき、応援者を要請。
応援者が社外への流出防止処置を実施しました。

7) 最終ますの緊急時処置訓練 (2021年9月8日実施)

地震発生時、工場内外で油などの漏洩が発生し、発生現場での処置が間に合わず、社外への流出が考えられる場合を想定。
排水が工場敷地外へつながる最終ますを遮断し社外流出を防ぐ訓練を実施しました。



8) 地震・避難訓練 (2021年9月8日実施)

震度7以上の地震が発生し、地震による負傷者、また火災が発生する想定で訓練を行いました。地震が収まるまで自分の身の安全を確保、揺れが収まってから避難場所への避難、点呼を実施。その後災害対策本部を設置、建屋内外点検者による負傷者の発生と火災の発生連絡が入り、各班が負傷者の救出、救護処置、火災に対する消火、などの訓練を実施しました。



9) 放水訓練 (2021年9月8日実施)

工場建屋での火災発生を想定し、自衛消防団による放水訓練を行いました。自衛消防団の出動、消火ホースの準備、消火ポンプの起動、消火ホースの連結、出火点への放水を実施しました。



10) 消火訓練 (2021年9月8日実施)

工場内で発生した出火に対して正しく初期消火を行えるよう消火器の使い方、有効な消火の方法を身に付ける訓練を実施しました。出火を確認した後、周りの者へ火事の発生を大きな声で知らせました。近くに設置してある消火器を手に取り、消火までの手順を確認しました。(水消火器を使用)



当社環境経営の最新情報はHPでチェック！！



6) 環境中期目標と環境活動の取り組み結果

環境関連データ

データ項目		単位	2017年実績	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2021年実績	2022年目標	2023年目標	2024年目標
CO ₂ 排出量		m ³ /生産トン	1.082	1.033	1.012	0.979	0.981	0.971	0.961	0.951
原材料										
原材料 使用量		トン	7,696.70	7,747.20	7,864.60	7,194.30	8,124.19	-	-	-
エネルギー										
A重油	使用量	ℓ	1,651,678	1,683,540	1,746,930	1,564,900	1,761,650	-	-	-
	原単位	ℓ/生産ton	247.5	247.8	255.5	251.3	251.6	249.1	246.6	244.1
電力	使用量	kwh	5,353,281	5,251,219	5,294,636	4,776,867	5,241,495	-	-	-
	原単位	kwh/生産トン	695.5	677.8	673.2	664.0	645.2	643.9	642.6	641.3
軽油	使用量	ℓ	545,688	533,355	537,426	517,782	531,727	-	-	-
	原単位	ℓ/出荷・回収	0.510	0.500	0.480	0.512	0.474	0.465	0.456	0.446
水										
取水量	上水道	m ³	13,614	13,748	15,058	12,794	13,654	-	-	-
	地下水	m ³	3,554	4,484	5,328	4,431	5,286	-	-	-
	合計	m ³	17,167	18,232	20,386	17,225	18,940	-	-	-
	原単位	m ³ /生産ton	2.230	2.350	2.560	2.394	2.331	2.308	2.285	2.261
産業廃棄物										
産業廃棄物	排出量	ton	2,533.30	1,804.00	2,406.60	1,967.00	2,445.88	-	-	-
	原単位	ton/生産ton	0.329	0.230	0.297	0.283	0.301	0.298	0.295	0.292

対象期間：各年1月～12月

※CO₂排出量、産業廃棄物排出量については 対象期間：4月～翌年3月

2021年実績について

- ・CO₂排出量 … 生産品種構成変更に伴い悪化
- ・産業廃棄物量 … 使用済タイヤの不良判定品増加によるもの

(3) 社会貢献活動

社会貢献活動 実績

私たちBBRMは、日本中の様々なコミュニティと関わっています。自らの強みや特性を活かし、地域社会の健康な暮らし、安全や安心、次世代の学びに真摯に取り組んできました。

具体的には障がいのある方が住み慣れた地域で日常生活及び、社会生活を実現できる様に「働く」をサポートする就労支援活動、地域清掃活動や献血活動、会社の災害備蓄品や家で眠っている食品・日用品などを寄贈するフードバンク活動、学校の部活動やスポーツ少年団でのボランティア活動、コーチ・監督として次世代の学びを指導・育成するなど、地域に深くかわり、愛される会社を目指し活動しています。

年度	活動件数	のべ参加人数	参加率
2019年	304件	2,358名	43.0%
2020年	573件	5,632名	69.2%
2021年	574件	4,827名	71.7%



就労支援活動

【毎日のお弁当購入】

千歳事業所：就労継続支援「むすびの弁当」
障がいを持たれた方々の社会参加を応援したいという思いから、毎日食べる給食弁当を就労継続支援を行っている業者さんから購入しています。



【花飾り、お食事マット購入】



加須事業所：児童発達支援センター「ふじ学園」
障がいのある児童の皆さんが作成された、フラワーアート、お食事マット、小物などを購入し、社内のちょっとしたスペースに飾っています。

【シイタケ、野菜購入】

仙台事業所：就労継続支援「よつば農園」

微力ながら支援活動の応援として、よつば農園さんで育てられたシイタケや野菜を販売する機会を創出しています。

社員や社員のご家族にとっても人気があり、特にシイタケはステーキ用として販売されるほど大きく肉厚で、4個入りでBOXティッシュと同じ大きさでした。



寄付活動

【献血】

「社会貢献がしたいが、何から始めれば・・・」と一歩踏み出せないでいる社員も多いのではと考え、数年前より「献血車」の受入れをスタートしました。構内での献血のため、参加しやすく社員にとっても好評です。多くの社員が献血に協力してくれています。各事業所とも近隣の企業の方々にも声をかけさせて頂き活動を推進しています。



【フードバンク】

私たちは、災害備蓄品の入れ替え時にフードバンク団体に寄贈をしています。また、「家庭で眠っている食品を持ち寄り寄贈してはどうか」との社員の声で、年に数回食品や日用品もフードバンク団体に寄贈しています。このフードバンク活動は、「食品ロスの削減」及び「食品を必要とされる方々の支援」に貢献しており、SDGs(持続可能な開発目標)につながっています。食糧支援を通じて一人でも多くの方々が健康で暮らせるよう願っています。



【おにぎりアクション】

日本の代表的な食である「おにぎり」をシンボルに、写真をSNS、または特設サイトに投稿すると1回の投稿ごとに、アフリカ・アジアの子どもたちに5食分の給食が届く社会貢献活動に多くの社員が参加しました。手軽に楽しみながら「世界の食の不均衡」という大きな問題の取り組みへ参加できることで社員のSDGsへの関心も深まっています。



【本の寄付】

読み終えた本を“チャリボン” から小児がん、重い病気と闘う子供たちとその家族の支援団体へ寄付しました。古本で寄付をすることが、本を手放す時の選択肢のひとつになり、この活動を通してたくさんの支援団体があることを知りました。



寄付活動

【寄付金型自動販売機】

自動販売機での売上の一部を、社会福祉に活かして欲しいという思いで(赤い羽根共同募金・日本赤十字社、その他団体)、各事業所に寄付金型自動販売機を設置しています。

飲みたいドリンクを購入するだけで寄付ができるので、気軽に取り組める活動です。SGDsの第一歩としても、社員に好評です。



【近隣小学校への寄付】

近隣小・中学校へ、2009年よりアルミ缶・ベルマーク・ペットボトルキャップなどを寄贈しています。児童の鼓笛隊の衣装代や運動会運営費の一部に充てられるなど近隣地域の子供たちの育成に関わりを持ちながら、地域とともに社会貢献活動に参加しています。



アルミ缶



ベルマーク



ペットボトルキャップ

【その他への寄付】

学校以外へも寄付活動を継続しています。ペットボトルキャップ、カレンダーは社会福祉協議会、使用済切手は公益財団法人日本郵趣協会など、不要文具は各支援団体へ寄付し、役立てていただきました。



ペットボトルキャップ



不要文具



使用済切手



カレンダー

当社環境経営の最新情報はHPでチェック！！



地元消防団

地元の消防団に入団しています。
 万一、この生まれ育った大好きな故郷が災害で被災した際、何としても皆を守りたい、美しい景観を残したいという思いから救助訓練や使用した消火栓の清掃活動などに積極的に参加しています。



訓練後のボート
洗淨



消化ホースの
洗淨

エコ絵画コンクール

社会貢献活動の一環として、ブリヂストングループでは、小学生以下を対象とした「ブリヂストン子どもエコ絵画コンクール」を実施しています。

このコンクールでは、子どもたちに環境・自然をテーマに絵を描いてもらい、それを通じて大人も含めた多くの人々に環境・自然の大切さを伝えていきたい思いが詰まっています。環境意識の醸成と共に地域コミュニティと当社社員との信頼関係の構築の手助けにもなっています。

毎年、近隣の小学校へ趣旨の説明に伺い、沢山の児童から素敵な絵画を数多く応募頂いています。



炊き出し利用者、ボランティアの方へのお手紙



お礼状

お手紙ボランティアは、「コロナに負けるな！炊き出しお手紙作戦！」と題し、お弁当と一緒に手書きのメッセージを渡して頂く活動です。“リモートボランティア”として、全国各地から参加できます。海外災害、コロナ感染症の影響で、炊き出しのお弁当を必要とされている方々に少しでもあたたかい気持ちが届くようにと、NPO法人のボランティア活動に参画しました。

スポーツを通じて地域貢献

「地域の子どもの未来」に貢献したいと考える社員が、野球・少林寺拳法・卓球など多くの競技に監督・コーチとして参加しています。

技術の向上や仲間と共に勝利するための正しい努力はもとより、チームワークの大切さや、自分たちを支えてくれている両親や周りの人々に感謝するといった心の育成にあたっています。



9. 価値創造の基盤・コーポレートガバナンス

(1) 基盤領域

コンプライアンス・公正な競争

ブリヂストングループは、創業者である石橋正二郎の想いをもち、「最高の品質で社会に貢献」を使命として掲げています。「最高の品質で社会に貢献」とは、高い品質で革新的な商品やサービスをお客様に提供することだけではありません。ブリヂストンがその存在価値を認めもらうためにも、一緒に働く一人ひとりが、日々の仕事の中で常に最高レベルの行動をしていくことが求められます。私たちBBRMの社員も事業活動のあらゆる面において誠実さをもって取り組んでいきます。

「コンプライアンスと誠実さにより卓越した存在になる」

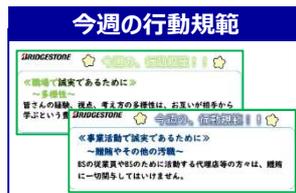
「私たちは、倫理的に意思決定し、業務全般で責任ある事業活動を実行することによって、全てのステークホルダーの皆さまと信頼を築きます。」

ブリヂストングループでは、さまざまなコンプライアンス上の問題に対処するにあたり、すべての社員の指針となる「行動規範」を発行しています。あらゆる面において誠実さをもって取り組まなければならないということを周知・教育しています。

行動規範



企業理念研修実施風景



今週の行動規範

BBRMでも企業理念研修、2回/年実施の方針説明会等、あらゆる会議体で、理念浸透の場を創出しています。

労働安全・衛生



安全宣言

「安全はすべてに優先する」

安全は私達ブリヂストンの企業経営の基盤です。安全な職場で安心して働くために一人ひとりが実践します。

「安全はすべてに優先する」

「安全は私達ブリヂストンの企業経営の基盤です。安全な職場で安心して働くために一人ひとりが実践します。」

BBRMでは、日々の安全活動の中で、巡回・指導及びリスク低減活動を推進し、安心・安全な職場作りを目指し、社員一人ひとりの安全意識向上を図ると共に、風土・文化・体質作りを行っています。

また、BBRMでは毎年5月11日を安全の日と定め災害ZD活動に取り組んでいます。

ポスター掲示



立哨活動(正門にて実施)



安全運転講習会(5・9月)



安全運転シミュレーター教育



BCP・リスクマネジメント

【COVID-19 事業運営への影響(BCP)】

COVID-19の感染拡大も2年が経過。未だ収束の兆しは見え、私たちの生活環境は大きく変わってしまいました。社員に対しても週1回の抗原検査キットによる感染対策の実施、2020年に引続き出来る限りの感染対策を実施して来ましたが、経営面では、大きく事業に影響を及ぼし始めた2020年からは若干、業績も上向いて来ましたが、日本の物流を止めないという使命のもと、社員の安全を最優先に社会インフラ(タイヤの供給/車の稼働/安心・安全)を支える観点で業務を遂行してきました。今後もこの状況は変わらないと思いますが、引き続き社員の安心・安全を最優先に、リスクマネジメントと危機管理及びBCPの枠組み強化に取り組んでいきます。

【3密対策】

食堂・休憩室	事務所の感染対策	感染リスク抑制																																							
<ul style="list-style-type: none"> ■ 食堂：密集回避の為、交互に間隔をとる時間も20分間隔 ■ 休憩室：顔を合わせることを無い様、学校形式に変更(全て前向)  <p>食堂の密集回避・パーティション設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビニールカーテン対策：来工者との飛沫感染防止 ■ 体温測定：社員、及び、来工者への検温   <p>来工者への検温依頼</p> <p>カーテンレールでの感染防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全社員に抗原検査キット配布 ■ 在宅勤務の積極実施：本社管理部門 <p>抗原検査キット(1回/週実施)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>本部</th> <th>20日 月</th> <th>21日 火</th> <th>22日 水</th> <th>23日 木</th> <th>24日 金</th> <th rowspan="2">本社 在宅率 50.2%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社長 須藤</td> <td>出勤</td> <td>出勤</td> <td>出勤</td> <td>出勤</td> <td>出勤</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">業務 企画</td> <td>西澤</td> <td>出勤</td> <td>在宅</td> <td>在宅</td> <td>在宅</td> <td>出勤</td> </tr> <tr> <td>相田</td> <td>出勤</td> <td>在宅</td> <td>在宅</td> <td>在宅</td> <td>出勤</td> </tr> <tr> <td>鈴木</td> <td>出勤</td> <td>在宅</td> <td>在宅</td> <td>在宅</td> <td>出勤</td> </tr> <tr> <td>古谷</td> <td>在宅</td> <td>出勤</td> <td>出勤</td> <td>在宅</td> <td>出勤</td> </tr> </tbody> </table> <p>在宅勤務(テレワーク)の積極的推進</p>	本部	20日 月	21日 火	22日 水	23日 木	24日 金	本社 在宅率 50.2%	社長 須藤	出勤	出勤	出勤	出勤	出勤		業務 企画	西澤	出勤	在宅	在宅	在宅	出勤	相田	出勤	在宅	在宅	在宅	出勤	鈴木	出勤	在宅	在宅	在宅	出勤	古谷	在宅	出勤	出勤	在宅	出勤
本部	20日 月	21日 火	22日 水	23日 木	24日 金	本社 在宅率 50.2%																																			
社長 須藤	出勤	出勤	出勤	出勤	出勤																																				
業務 企画	西澤	出勤	在宅	在宅	在宅	出勤																																			
	相田	出勤	在宅	在宅	在宅	出勤																																			
	鈴木	出勤	在宅	在宅	在宅	出勤																																			
	古谷	在宅	出勤	出勤	在宅	出勤																																			

【リモートワーク作業拡大に向けた環境整備(本社業務取り組み)】

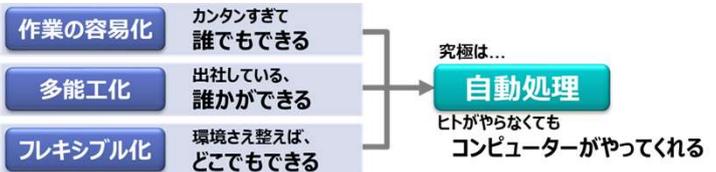
COVID-19における社内感染抑止のため、2020年に引続き、DX(デジタルトランスフォーメーション)^{※1}を「働き方改革」の柱に於き、出社必要業務の見直しや、会議体・研修をWeb、動画を活用した会議体に見直すなど、積極的に改革を推進してきました。

※1：AI や IoT などの先端的なデジタル技術の活用を通じて、デジタル化が進む 高度な将来市場においても新たな付加価値を生み出せるよう従来のビジネスや組織を変革すること

【働き方改革の柱】



【取組みの方向性】



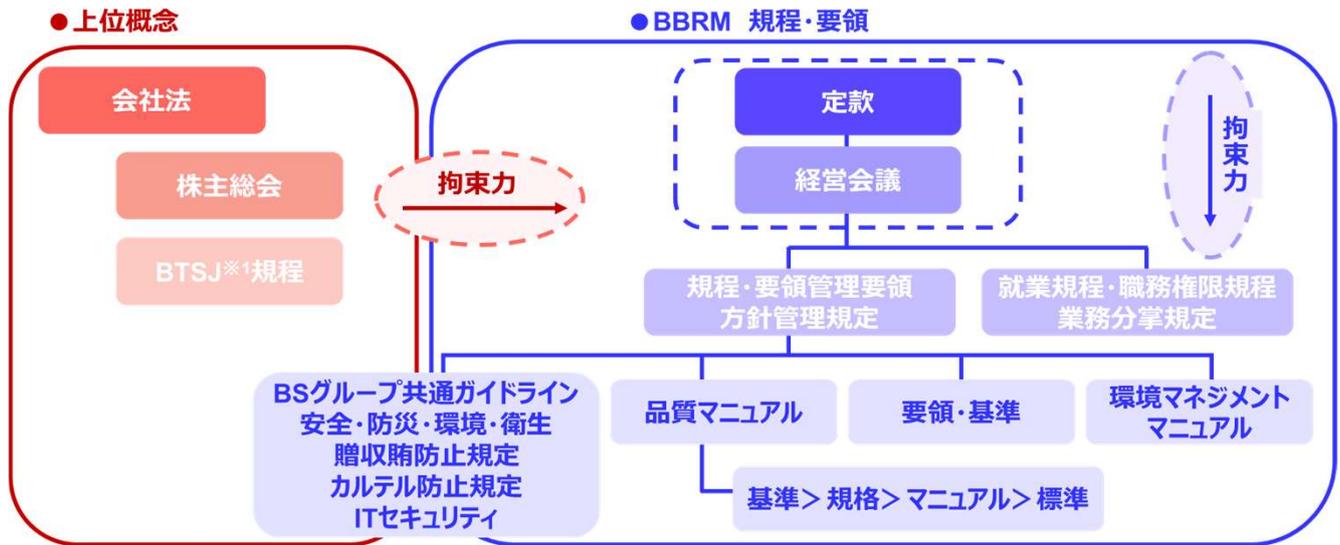
【環境整備のステップ】

① ITインフラ改善	② 作業領域拡大	③ リモートワーク実現業務																						
<p>本社所属 全従業員使用可能</p> <p>RAS 外部からの社内リンク接続</p> <p>Web会議システム</p> <p>全本部導入済</p> <p>WinActor® RPA</p>	<p>オフラインでも操作可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Excel ■ Word ■ Power Point 等 <p>①で新たに操作可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ TIME-3X ■ ワークフロー ■ BS-HIWAY 等 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>業務</th> <th>活用システム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">会議 研修</td> <td>各種 会議体・打合せ (社内・社外)</td> <td rowspan="2">Web会議</td> </tr> <tr> <td>各種 研修体 多頻度化</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人事</td> <td>小集団カイゼン活動 活性化</td> <td rowspan="2">RPA</td> </tr> <tr> <td>勤怠管理 TIME-3X (入力・集計)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">総務</td> <td>面接 (採用・昇進 等)</td> <td rowspan="2">Web会議</td> </tr> <tr> <td>決裁書 (起票・回議・承認)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">経理</td> <td>ワークフロー 経費処理</td> <td rowspan="2">ワークフロー</td> </tr> <tr> <td>購買伝票 電子化</td> </tr> <tr> <td>現業</td> <td>日報・規格・マニュアル 作成・閲覧</td> <td>RPA・PDF</td> </tr> </tbody> </table> <p>個人業務 +</p>	項目	業務	活用システム	会議 研修	各種 会議体・打合せ (社内・社外)	Web会議	各種 研修体 多頻度化	人事	小集団カイゼン活動 活性化	RPA	勤怠管理 TIME-3X (入力・集計)	総務	面接 (採用・昇進 等)	Web会議	決裁書 (起票・回議・承認)	経理	ワークフロー 経費処理	ワークフロー	購買伝票 電子化	現業	日報・規格・マニュアル 作成・閲覧	RPA・PDF
項目	業務	活用システム																						
会議 研修	各種 会議体・打合せ (社内・社外)	Web会議																						
	各種 研修体 多頻度化																							
人事	小集団カイゼン活動 活性化	RPA																						
	勤怠管理 TIME-3X (入力・集計)																							
総務	面接 (採用・昇進 等)	Web会議																						
	決裁書 (起票・回議・承認)																							
経理	ワークフロー 経費処理	ワークフロー																						
	購買伝票 電子化																							
現業	日報・規格・マニュアル 作成・閲覧	RPA・PDF																						

(2) BBRMのガバナンス

「コーポレートガバナンス」

これを日本語に訳すと「企業の統治」を意味し、「企業自身が企業を管理すること」を指します。つまり、「どのようにして企業をコントロールするか」ということで、もっと具体的にいうと「企業内の不正を防ぐ仕組み」「企業が効率的に業務遂行するための仕組み」をどう監視していくのかということになります。BBRMでは、ガバナンス体制の強化を図るにあたっては、会社法・株主総会・BTSJ※1規程に則り、ガバナンスの体制強化の為、BBRM規格・要領を体系的に確立し、日々、ガバナンスの強化に努めています。



※1 BTSJ：プリチストンタイヤソリューションジャパン株式会社

1) 上位組織との会議実施体制

上位組織との株主総会(1回/年)・事業審議会(上期/下期)BBRM経営会議(1回/3ヵ月)を実施し、ガバナンスの強化を図っています。

	メンバー	頻度	議題内容
株主総会	BSJ※1 BTSJ BBRM	1回/年	事業内容・施策・業績について報告し承認を得る
事業計画審議会	BTSJ BBRM	上期/下期	BBRM事業計画書(年初予算、下期修正予算)のBTSJ承認取得
BBRM経営会議	BTSJ BBRM	1回/3ヵ月	1/4期の業績及びその時の課題の共有化、実施計画成り行きフォロー

※1 BSJ=株式会社プリチストン 日本タイヤ事業管掌

2) 経営会議構成メンバー

経営上重要な事項については、事業計画審議会及び権限規定に基づいて決定。また経営会議にて、定期的の実施計画成り行きをフォロー、修正することを、親会社であるBTSJと定めており、社外監査役(BTSJ)2名と社内代表取締役以下7名の合計8名にて、ガバナンス体制を構成しています。

経営会議構成メンバー(計8名)

社外
監査役(BTSJ)
BTSJ2名



社内
代表取締役社長
1名



執行役員
1名



各部門長
5名

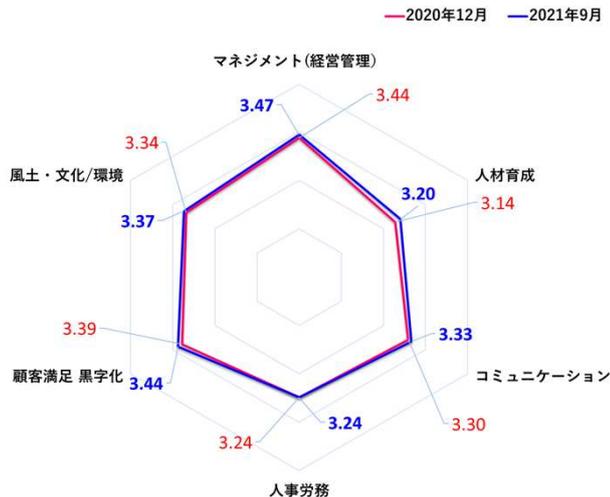


3) 課題とリスクへの対応

当社では、社員が現場で感じる生の声を「経営の課題・リスク」ととらえるべく、6つの改革をベースに、年に一度、全社員を対象として社員満足度アンケート調査※を実施しています。
社員から吸上げた声については、当年・次年度に取り組むべき課題・リスクとして捉え、経営方針にも反映させる重要な区分に位置づけ、経営に生かす取り組みを実施しています。

※社員満足度アンケートは、BBRM独自の社員満足度アンケート調査で、6つの改革毎、各6問の質問(計36問)に回答してもらうもので、最高点を4点と定め毎年実施するもの。

2021年9月 社員満足度調査結果報告



項目	2020年12月	2021年9月	前回差
マネジメント	3.44	3.47	+0.03
人財育成	3.14	3.20	+0.06
コミュニケーション	3.30	3.33	+0.03
人事労務	3.24	3.24	±0
顧客満足・黒字化	3.39	3.44	+0.05
風土・文化	3.34	3.37	+0.03
全社合計	3.31	3.34	+0.03

アンケートの結果として

2021年は、全体としては対前年微増の傾向にあるもの、マネジメント・人事労務で課題が有ることが分かった。
コロナ禍の長期化が影響してか本社と各拠点、上司と部下のコミュニケーション不足により、必要な情報がタイムリーに伝わっていない。
また、コミュニケーション不足から、人事労務への不満へもつながっていることが判明した。

社員の意見からの課題(7件)

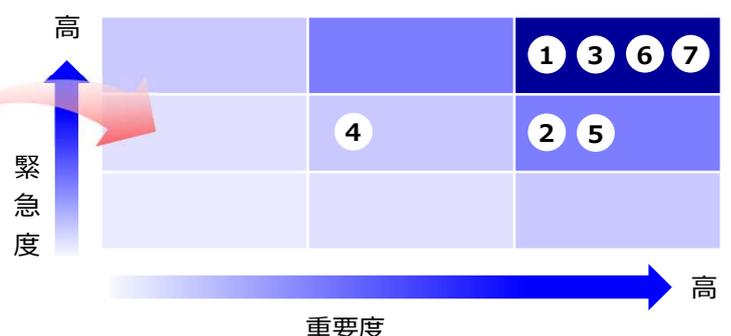
- ①安全対策
- ②設備の老朽化・自動化(軽労化)
- ③処遇・福利厚生の実質化
- ④ワークライフバランスへの取り組み
- ⑤将来を見据えた人財育成
- ⑥大規模災害への対応(地震・台風・豪雨)
- ⑦COVID-19への対応

上記課題を、縦軸に「緊急度」、横軸に「重要度」を取った表に、事象をプロットし、それぞれの課題について精査し、2021年度は左記の様な結果になった。

	質問事項	前回差
マネジメント	あなたは、会社の状況・必要な情報が適切に伝えられていると思いますか？	-0.01
	あなたは、企業理念(創業者の想い)に共感していますか？	0.02
	あなたの職場は社長方針・BRMの誓いに沿ったマネジメントがされていますか？	0.04
	あなたの職場は会社の目標を達成しようと努力していますか？	0.03
	あなたの上司は適切な指示・指導が来ていますか？	0.08

	質問事項	前回差
人事労務	あなたは、公平・公正な評価をされていると思いますか？	0.06
	あなたは、仕事への貢献や成果の大きさに見合った報酬が得られていると思いますか？	-0.02
	あなたは、趣味や子育て、気分転換に使う時間が確保できていますか？	0.00
	あなたは、会社の福利厚生(積立金、帰宅旅費、BBS 経由各種保険割引、保養所等)が充実していると思いますか？	0.01
	業務以外の各種イベント(花見、納涼祭、忘年会)が充実していると思いますか？	-0.05

課題のマテリアリティ分析



10. ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション

BBRMは、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、取り組みに対する理解を促進するとともに、皆様からの意見や評価、期待などを広く収集し事業活動に活かすことで、持続的成長に向けた継続的改善を行っています。

全てのステークホルダーの皆さんにBBRMのファンになって頂ける様、社員一丸となって取り組みを推進していきます。

主なステークホルダー	BBRMの責任と課題	SDGs	主な対話の方法・機会
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適切で迅速な対応・サポート ◆ 適切な情報共有 ◆ 適切なお客様情報の管理 	  	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 相談窓口でのお問い合わせ対応 ➢ お客様の声の分析・データ化及び社内への展開 ➢ ウェブサイトでの情報発信 ➢ 日々の営業・サービス活動 ➢ 市場調査等による顧客満足度調査 ➢ ホームページを活用してYouTube発信
株主	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適時・適切な情報開示 	 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 定時株主総会開催
お取引様	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公平・公正な取引 		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 日々の調達活動
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人権の尊重 ◆ 多様な働き方を含めた多様性の促進 ◆ 人財の育成・活用 ◆ 安全衛生・健康経営の推進 	        	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「行動規範」「グローバル人権方針」研修会の開催、及び、e-ラーニングによる自学研修 ➢ 社員満足度調査 ➢ 人事評価制度、1on1メール面談 ➢ 社内報やWebでの情報発信・共有 ➢ 経営者と従業員の対話 ➢ BBRM功績表彰制度、他 ➢ オリンピック、パラリンピックに関連した社内向けイベントの案内 ➢ 健康経営・ダイバーシティ取り組み推進
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域社会への貢献活動 ◆ 地域環境の保全 ◆ 事業所地域での支援活動 	     	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域社会貢献や寄付 ➢ 地域の皆様・お客様を対象とした工場見学会 ➢ 環境、安全啓発活動への参画 ➢ 地域イベントへの協力 ➢ 災害復興支援への協力 ➢ 障がい者への就労支援活動
官公庁 業界団体 教育機関	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 安心・安全なモビリティ社会整備への貢献 ◆ 教育活動への貢献 ◆ 多様な意見収集、交換 	       	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域教育機関(小・中・高等学校)との交流 ➢ 地域特別支援学校からのインターンシップ受け入れ ➢ 各地域の経済・業界団体との対話、連携 ➢ 各地域自治体との交流・意見交換 ➢ 全国交通安全運動期間の立哨活動参画

Appendix:環境関連法規

法規名	遵守事項	条・項	確認方法	確認日	判定	
グリーン購入法	物品を購入し、もしくは借り受け、又、役務の提供を受ける場合にはできる限り環境物品等を選択するように努める		物品購入リスト	購入時	◎	
大気汚染防止法	届出	ばい煙発生施設設置の届出	第6条第1項	設置届	2018年6月27日	◎
		ばい煙発生施設構造等の変更届出 ばい煙発生施設使用廃止の届出	第8条第1項 第11条	変更届	変更なし	
		氏名(代表者・事業所名称等)変更の届出	第11条	変更届	2017年5月10日	
	基準	ばい煙量、ばい煙濃度の排出基準の順守	第13条	測定記録	2021年11月26日	
	記録	SOx・ばいじん・NOx濃度を2回測定/年、記録3年間保存	第16条則15条 第17条第1～3項	測定記録	2021年11月26日	
	管理	事故時の措置(応急措置を講じ速やかに報告)	第17条第1～3項	事故事例	事故事例なし	
特定粉じん(アスベスト)排出等作業の実施の届出 (1)特定粉じん排出等作業を伴う建設工事を施工しようとする者は、作業開始日の14日前までに都道府県知事に届出		法第18条の15	届出書	工事発生なし		
フロン排出抑制法	管理	第一種特定製品管理者の役割と責務	—	—	◎	
		管理者が守るべき判断の基準 (1)機器の設置と使用環境 (2)機器の点検 (3)フロン漏洩時の適切な対処	第16条	記録簿		2022年5月23日
	記録	整備の記録と保存(点検・整備記録簿の作成)		記録簿		2022年5月23日
騒音規制法	届出	特定施設の設置の届出	第6条第1項	設置届	1972年6月	◎
		特定施設の変更等の届出	第8条第1項	変更届	変更なし	
		氏名の変更等の届出	第10条	変更届	2017年5月10日	
振動規制法	届出	特定施設の設置の届出	第6条第1項	設置届	1972年6月	◎
		特定施設の変更等の届出	第8条第1項	変更届	変更なし	
		氏名の変更等の届出	第10条	変更届	2017年5月10日	

Appendix:環境関連法規

法規名		遵守事項	条・項	確認方法	確認日	判定
浄化槽法	届出	浄化槽設置の届出	第5条	設置届	2010年 9月7日 2020年 1月20日	◎
		構造、規模変更時の届出	令2条の4	変更届	変更なし	
		浄化槽廃止の届出(30日以内)	第11条の2	廃棄届	2020年 1月20日	
浄化槽法	管理	設置後等の水質検査	第7条	測定記録	2011年 7月27日	◎
		使用開始3ヵ月目から5ヵ月経過以内に実施	則4条	測定記録	2020年 7月20日	
		年1回、指定検査機関で検査を受ける	第11条	測定記録	2021年 7月16日	
		保守点検 1回/4ヵ月以上	施行規則第6条	測定記録	2021年 12月22日	
		清掃 1回/年	第10条	清掃記録	2021年 7月13日	
工業立地に 関する法律	届出	新設(変更)の届出	第6、8、11条	設置届	1970年 12月	◎
		生産施設、緑地、環境施設(噴水、池、広場)の面積の敷地面積に対する割合規定				
水銀使用製品産業廃棄物に 対する措置※追加基準	管理	・保管場所の掲示に廃棄物の種類に水銀使用製品産業廃棄物が含まれる旨を記載 ・他のものと混合する恐れがないように仕切りを設ける等の措置	法第12条2項、 則第8条	保管状況	2022年 5月23日	◎
		「水銀使用製品産業廃棄物」の収集運搬、処分業者の許可を受けたものと委託契約を締結	則第8条の4の2	契約書有効期限	2026年 1月29日	
		産業廃棄物の種類欄に「水銀使用製品産業廃棄物が含まれる旨、及びその数量」を記載	則第8条の20、21	現地調査記録	2020年 2月26日	

Appendix:環境関連法規

法規名		遵守事項	条・項	確認方法	確認日	判定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	管理	産廃を処理委託する場合に産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付	施行規則 第8条の20~26 施行規則 第8条の28 施行規則 第8条の29 第12条の3 第1項	マニフェスト	2022年 5月23日	◎
		運搬受託者は運搬終了後、必要事項記載し写しを交付者に送付(終了から10日以内)				
		処分受託者は処分終了後、必要事項記載し交付者、運搬受託者へ写しを送付(終了から10日以内)				
		管理表交付者は、交付された写しを保存(5年間)				
	運搬/処分: 交付日から90日 最終処分: 交付日から180日 ※特別産業廃棄物については交付日から60日					
	報告	生活環境の保全上の支障の除去又は発生の防止の為に必要な措置を講ずるとともに、返送期限切れとなつてから30日以内に、措置内容等報告書を都道府県知事に提出		報告書	2022年 5月23日	
「産業廃棄物管理票交付状況報告書」提出義務 排出する事業所毎、毎年6月30日までに当該年の3月31日以前の1年間に交付した管理表の交付等の状況を様式第3号により作成し、県知事に提出						
県条例	埼玉県生活環境保全条例	水質の汚濁に関する規制	第50条(施行規則第31条)	ブロー量	2022年 5月23日	◎
		排水基準の遵守等				
		地下水水質検査及び環境基準順守義務地盤沈下に関する規制	—	—	—	
		揚水施設の使用の届出	第88条	届出	1979年 10月31日	
		地下水の採取の許可	第86条	届出	1979年 11月28日	
		地下水採取量報告	第96条第2項	届出	2022年 1月20日	
		氏名変更届	第89条第4項	変更届	2017年 5月15日	

Appendix:環境関連法規

法規名		遵守事項	条・項	確認方法	確認日	判定
特定家庭用機器再生商品化法 (家電リサイクル法)		なるべく長期間使用することにより、特定家庭用機器廃棄物の排出を抑制するよう務める	法6条 令1条	発生時	発生無 2022年 5月23日	◎
		排出する場合は、特定家庭用機器の廃棄物の収集、若しくは運搬をする者、又は再商品化する者に適切に引渡し、必要な料金を払う				
		法律の目的を達成するために行う措置に協力しなければならない				
		(対象機種)ユニット形エアコンディショナー、テレビジョン受信機(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)、電気冷蔵及び電気冷凍庫、電気洗濯機及び衣類乾燥機				
進会循環 基形成型 本成社 法推社		事業者の責務	第11条	安全・品質・ 環境に向けた 事業活動	2022年 5月23日	◎
		製品の生産者は製品の再利用や処理についても責任を負う				
消防法	届出・ 管理	防火管理者選任又は解任の届出	施行規則第4条 第13条	届出書	2017年 2月19日	◎
		危険物保安監督者の選任/届出			2015年 5月11日	
		危険物取扱所設置及び変更の届出			1971年 2月22日	
		・危険物倉庫				
		・重油タンク				
		・ボイラー室			1971年 1月16日	
指定数量の届出	1971年 1月23日					
自衛消防隊の設置	第14条の4	2022年 5月23日				
					2012年 3月29日	

Appendix:環境関連法規

法規名	遵守事項	条・項	確認方法	確認日	判定
エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネルギー法）	エネルギー使用者は、基本方針の定めるところに留意して、エネルギーの使用の合理化に努める。	第4条			
	工場に係る措置	法7条2項	定期報告書	2021年 4月26日	◎
	使用量の算定				
	3,000kl以上・・・第1種I種工場-管理指定工場				
	1,500kl以上・・・第2種I種工場-管理指定工場				
	エネルギー使用量の届出		中期計画書	2021年 7月6日	
	エネルギー管理統括者・企画推進者の選任		選任届	2013年 1月7日	
	エネルギー管理員選任	法7条3項 第7条の 二、三	エネルギー管 理要領	2022年 5月23日	
	エネルギー使用の合理化の判断				
	燃料の燃焼の合理化				
	加熱及び冷却並びに電熱の合理化				
	放熱、伝導等による熱の損失の防止				
	抵抗等による電気の損失の防止				
	電動力応用設備、電気加熱設備等				
照明設備、昇降機、事務用機器、民生用機器等					
ゼロエミッションの推進	ゼロエミッション達成の基準 →売却しているものも含めた、全ての廃棄物発生量に対する埋立量が1%未満になり、且つ3か月以上継続したことをもってゼロエミッション達成とする	—	ゼロエミッション報告書	継続中 2022年 5月23日	◎

違反・訴訟の有無

環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって、違反や訴訟も1件も発生していません。

ブリヂストンBRM株式会社

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

ブリヂストンBRM(株)は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



ブリヂストンBRM株式会社

埼玉県加須市南篠崎1丁目2番地3 〒347-8550

TEL : 0480-65-2111 FAX : 0480-65-2119

www.bs-brm.jp

2022年10月作成